



四書國字辨

孟子

四

12  
1039  
104



口 12  
1039  
卷 10

四書國字辯孟子卷之四

告子章句上

告子曰性猶杞柳也義猶杯棬也 告子ハ性ハモト天理ナルヲ知ラズノ性ハ惡ナリト思フニヨリ性

ト仁義ヲ別ニスルユ此ノ問アリ杞柳ハヤナギナリ杯棬ハ飲食ヲモル器ニテホヲミゲテコレヲツクルコノ義字ノ上ニ仁ノ字ヲ加ヘテミルヘシ落字ナラント

以人性爲仁義猶以杞柳爲杯棬 コレ云意ハ孟子ノ性善ナリト云ラヤアリテ人性モト仁義ナレコレヲタハメ

カシメテ後ニソノ徳成ルコレ人性ヲ以テ仁義ノ徳ヲツクルハナヲ杞柳ヲカシメテ杯棬ヲツクルカ如シト 孟子曰子能順杞柳之性

而以爲杯棬乎 告子ハ杞柳ノ自然ノ性ニシタカヒテコレヲツクラヤ但シ將戕賊ヲ杞柳オノツカラ器ニナルベキノ性アルニヨリテ器トスルヲ云

賊杞柳而後以爲杯棬也 ソノ性ニシタカハスノ杞柳ヲ戕賊シ如將戕賊イタメソナヒテ後コレヲツクラントスルモノナリ

杞柳而以爲杯棬則亦將戕賊人以爲仁義與 モレ杞柳ヲイタメソコナフ以テ仁義ノ徳ヲツクラントノカト 率天下之人而禍仁義者必子之言

マタハ人タル本性ヲソコナヒヤブリテ 夫人ノ性ヲソコナヒヤブリテ仁義ヲナスト云ハ人ゴトニミナ仁義ヲスルハ我カ

天ヨリウケタル本性ヲソコナフトコレヲスルモノナカラシコレ天下ノ人ヲヒキイ



四書國字辯 孟子

テ仁義ノ道ニワザハヒヲ告子曰性猶湍水也決諸東方則東流決諸

西方則西流告子ハ性ヲ惡ナリトメタメニゲテ後ニ善ヲナスヘシト云コ

變シタルハ動ク処アルユヘナリ湍ハセナリ急ニナガル人性之無分於善不

善也猶水之無分於東西也善惡ワカルナラ水モ東ヘナガレ西ヘナカルト定

リタルハナシ只ソノキリオトス方ヘナカルガ如シト揚子ガ人ノ性ハ善惡混ス

ト云ニナカレ然レ告子ハ善惡モト性ノナキ処ニソノナル、処ニヨリテ生ストコレ

スコレ異子孟子曰水信無分於東西無分於上下乎水ノチカルハ東西ヲワカ

ノ定リハアルコトナリ人性之善也猶水之就下也人無有不善水無有不

下多人性ノ善ナルコトハ水ノヒキ、方ニナルカ如シ今夫水搏而躍之可使過

激激而行之可使在山是豈水之性哉其勢則然也激ストハ物ニアテ

ヲ云水ヲウチタキテオドリアガラスレバ人ノヒタヒヲモスキコスベシ又セキアゲテ

ヤラバ山ノウヘニモノボスベシ水ハヒキ、ニツクモノナレバカクノ如クナルハ東西ヲワカサルヨ

リモ甚シコレナシニ水ノ本性ナランヤウチ人之可使爲不善其性亦猶

是也人性ハ元來善ナルモノニレテ不善ナルコトハナケレヒキ、ニツク水ノ性ヲ

性ニサカフコトアルナリ何ユヘ性善ナルモノ、不善ナラスナレバ物欲ニイサナハレ

利害ニセシラレテソノ本体ヲ失フコト水ノ搏激セラルガ如シト此ノ章ノ意人性ハ

モト善ナルユヘコレニシタガハ不善ナシ惡ナキユヘニ是ニソムキテ告子曰生之

後ニ惡ヲナスモトヨリ定体ナクノ惡ニライテセスト云コトナキモノニアラス謂性

ハ生立息ヲ云ソレ人ハ天地ノ萬物ヲ生タスル処ノ氣ヲウケテ生ル、ユヘニ一身ニミツ

ル処スヘテコレ發生ノ氣ニノウコキハタラク性意ヤム時ナレソノ氣ノ内ニオノヅカラ精

神ヲクミテ心ニ感レ身ニラル知覺應當セスト云コトナシ告子ソノ知覺運動スル所

以ノモノヲサレテ性トス凡ソ告子カ性ヲ論スル前後四章ソノ詞同シカラサレレ大意ハ

此ノ章ノ說ハツレズコレ釋氏ガ作用是性ト云ニ相チカクノスコレノチカヒアルナリ

子孟子曰生之謂性也猶白之謂白與ト云ナラバオシナヘテ物ノ自キヲ白シト云ガ

コトキク然レ告子ソウウ白羽之白也猶白雪之白白雪之白猶白玉之白與

孟子又問フ鳥ノ羽モ白ク雪モ白ク玉モ白ク曰然告子然則犬之性猶

牛之性牛之性猶人之性與告子ガ然リト云ヲウケテ白羽白雪白玉トモニ白

ナラ人ノ性ノ如キカト犬牛ト人トハ知覺運動ハ同シケレモソノ性タルハ大ニ異ナリ

程子張子至至理氣ヲワキテ論スルユヘソノ義ハヒメテ明ナリ性ハモト天ニウケ  
テ心ニソナヘタル理ナリサレモ理ハ氣ノ内ニ寓メツ子ニ相ハナレズ蓋シ人物ニテ氣ニヨリテ性  
ヲナシ理ニヨリテ性ヲソナフ氣ヲ以テ是ヲイハバ知覺運動人ト物ト異ナラザルガ如シ理  
ヲ以テ是ヲ云ハハ仁義礼智ノウケタル物ノ得テ全フスル処ナラシヤコレ人ノ性不蓋  
ナクノ萬物ノ靈タル処ナリ告子曰人良色性也仁内也非外也義外也

孟子ハ仁義ヲ以テ性ノアル処トス生ロ子ハ仁義ニナ外ニナルトス祀  
非内也柳栢椿ノ如シコレ外ニスルノナリソノ後孟子ノ辨ニヨリテ仁ハ物ヲ愛

スル意ナレバ事ノ義ヲハカルヨリモヤ城ナルユヘ内ニ近シトス故ニコノ説ヲツクリテ  
食ト色トヲ愛スルノ意ハ人ノ本性ナルヨリ内ヨリ出ツ義ハコレ處置ノヨロシキ処

ナルユヘ三ナ外ニ生ス人々カヲ内ニ用テ必スレモ外ニ求ムベカラズト上章ニ生ヲ性ナ  
リト云ハコレ知覺運動スル所以ノモノヲ以テ性トスコレハ食色ノ愛スベキヲ知テ

コレヲ愛スルヲ以テ性トス孟子曰何以謂仁内義外也仁義ハ三ナ内ニアリテ  
コレタニ知覺運動ヲ性トスル

孟子曰彼長而我長之非有長於我也猶彼白而我白之從其白  
アリト云ゾ

於外也故謂之外也生子仁ヲ内トスルノ子孟子トオモキ似タルユヘ只義ハ外ト

白キヲ見テハ我レ是ヲ長レレ白レトスルハ長トレ白レトスルノ意ニツ我カ内ニアルニア  
ズ只外ニテソノ長セルト白キトニ從テコレヲ長トレ白レトスルナリヨリテコレヲ外ナリ

ト曰異於白馬之白也無以異於白人之白也不識長馬之長也無以

異於長人之長與異於ノニ子ハ關字アルカ衍文ナラントナリ云意ハ白キ

ソノ長ヲ長トスルノ馬ト人トニチガフナキカ不白ヤシラズイカント異ナラズト

スルニツウチニ馬ト人トノ白キハ異ナラサレモ長ヲ長トスルノ異ナルヲアレバエラヒ

フキテ處置ス且謂長者義乎長之者義乎且謂以下ノ二句ハ人ヲ以テ

レ意内ニアルナリ曰吾弟則愛之秦

ナレバ物ノ長セル処ヲ義トセンカ我ガコレヲ長トスル処

ヲ義トセンカト則ツカ處置スル処コレ義ニ内ニアルト明カ曰吾弟則愛之秦

人之弟則不愛也是以我爲悅者也故謂之内告子又イフ我レ長者

タゞ長トスルノ愛ニクエテ同レカラザルヨリミレバ仁ハオノツカラ内ニアリテ義

ハオノツカラ外ニアリソノ證據ニ我カ弟ヲハワレコレヲ愛シ秦國ノ人ノ弟ヲハワレ

コレヲ愛セス愛ノ同レカラサルヲアリ主トスル処ハ長楚人之長亦長吾之

我レナリ他人ヨリ愛セヨトレイルアズ故仁ハ内ニアリ去長楚人之長亦長吾之

長是以長爲悅者也故謂之外也長ハコレトチガヒ楚國ノ人ノ長ヲ長トスルモ

ナクノ只ソノ長ヲミル主トスル処ワレニアラザルユヘ義ハ外ニアリト云

告子ガ云フ処長トスルヲ義ナリト知テコレヲ長トスルハ我心ヨリ出ルヲシラズ

曰老者秦人之  
炙無以異於者五炙夫物則亦有然者也然則老者炙亦  
有外與子  
食色ヲ性トモコレヲ愛スルヲ以テ内トス子孟子ノアキラカナル処ヨリサトメイフ  
秦國ノ人ノ炙ヲスキコノムハ我カ炙ヲスキコノムニチガフナレソレ弟ヲ愛スルヲ

以テイハバ秦ト我レトチガハ臣食ヲ愛スルヲ以テイハバ秦モ我モチガフナクノ  
 楚ノ長ト吾ガ長ヲ敬スルニ同シヤウナルモノアリ然ラバ食ヲ愛スルニモ亦外ナル  
 アルカモレノ意内ナルトキハ長ヲ敬スル意モ亦内ニ外ニアラスト蓋シ告子愛  
 ト敬トニ淺深アリテ是ヲ愛敬スル意ハ三ナ内ヨリ出ルヲラズ故ニ孟子コノ説  
 ヲ以テコレヲワカツナリハジメヨリコニ至ルニテノ四章生ヨ子カ云フ処コトクイヒツ  
 メラルレモ亦タビクニソノ説ヲカヘテ孟子ニカタニテ求メツイニ身ニカヘリテ疑フ処  
 アルナレコレソノ云フ処ノ言ニ得ズバ心ニ求ムル子孟季子問公都子曰何  
 ナカレト云モノソノ学ノアタタニ終リテエカレ也

以謂義内也 孟季子ハ孟子ノ義ハ内ナルヲウクカヒアイ弟子ノ公都子ニ問  
 曰行吾敬故謂之内也 敬スル処外ニアリト云ヘレコノ敬ハ 郷人長於伯兄  
 歳則誰敬 伯兄トハ兄ノ一季子又トフモレ郷人ナリト云フ也 曰敬兄 公都子  
 郷人ノ一年長セルヨリモトシレハ 酌則誰先 季子カサ子テ 郷人ノ長ヲ請ノ同シ  
 シタナリ也 我カ兄ヲ敬セシ 郷人ニクニシト

由内也 季子又云フ敬スルハコレヲ長トスル処ナリコニアリテハ兄ヲ敬シカレコニア  
 又ルナレバ義ハ果ノ外ニ公都子不能答以生ヨ子孟子 公都子コトヘニツマリテコ  
 アリテ内ヨリ出ルニアラヌト

孟子ニ生ヨクコノ論告子ハ長ヲ敬スルノ義仁愛ニ比スレバヒロキユヘ外トス季子  
 ハ長ヲ敬スルノ義時ニシタカフテ定処ナキヲ以テ外トスソノ云フ処告子ヨリ一等  
 再答ニ屈ス 孟子曰敬叔父乎敬弟乎彼將曰敬叔父 都子コトヘラ

弟 尸トハ祭リノトキ同宗ノ孫タルモノヲタテラキ神ニカタトリ供養スカタ  
 レロナリコレヲ敬スルヲ祖考ノ如シ弟ヲカタシロトセバオチヲ敬セシカオトウトラ

敬センカト問ハ季子ニサニ 子曰惡在其敬叔父也彼將曰在位故也  
 オトウトラ敬セント云ハン

子ソコデイハ弟ヲ敬セバ叔父ヲ敬スルノ意イツクニカアル何ユヘ 子亦曰在位故  
 叔父ハカリヲ敬セザルト彼尸タルユヘニ敬スルト云ハン

也 子モニタ郷人ナレバ賓客ノ位ニ庸敬在兄斯須之敬在郷人 庸敬ハ  
 易ノ敬ヲ云叔父ト兄トヲ敬スルハ庸敬ニメ弟ト郷人ヲ敬スルハシバラクノ 季子

敬ニテ權ニ一時ノ應変ナリソノ時ノ宜シキヲルハ三ナ内ヨリ出テ外ニアサルト明ナリ  
 聞之曰敬叔父則敬敬弟則敬果在外非由内也 孟子ノ説ヲ以テ問答ス

メカハル時ナク權ハシバラクニメ一應ノ変ナリソノ時ノ宜キニカナヘルヲ三ナ内ヨリ出  
 ルノ義ニ通セズメ云ク叔父ヲ敬スヘキトキハ敬シ弟ヲ敬スベキトキハ敬スルハ我レヨリ由

ルニアラサレバ義ハ 公都子曰冬日則飲湯夏日則飲水然則飲食亦在  
 決メ内ヨリモズ外ニテ

外也 公都子カサトセ臣季子イニダ合点ノユカザルヲ見テ孟子ノ多ヲタシム意ニナラヒテ云クソノ内トスル飲食モ時ノ宜キニシタカフテチカヒアルハ叔父ヲ

敬シ弟ヲ敬スルノ時ノ宜キニヨルト同シナリ 然ルトキハ飲食ヲ愛スルヲモ亦外ニアリモシコレヲ内トスルトキハ敬ノ時宜ニヨルモ亦内ナリトニ章ノ問答オホム子ホ

ボ同シウチカヘメタトヘヲ以テドヒラサトシ仁義ノ内ニアルヲ アカサレムル時ハ人性善ニシテ先舜タヒキヲラシルト北池氏云ヘリ 公都子曰告子曰

性無善無不善也 コノ意ハ性ハ善ニモアラス惡ニモアラス善惡ノ名ツクベキナレトコレハ生ヲ性ト云食色ハ性ナリト云ニ同シケレモサレク

孟子ノ性善ナリト云ラ 或曰性可以爲善可以爲不善 性ハソノナラフ如

或曰性可以爲善 性ハソノナラフ如

是故文武興則民好善 文武ハ文武ニシテ仁善ナルトキハ民 或曰有性

善有性不善 コレハ善不善ハ人ノ生レツキニ 是故以堯爲君而有象以

瞽瞍爲父而有舜 コノユニ堯ノ聖代ニモノノ德ニ化セズノ舜ノ躬ニ象カ如

人如キ聖以紂爲兄之子且以爲君而有微子 微子ハ庶兄

比干 微子ハ庶兄 今曰

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

其情則可以爲善矣乃所謂善也 性ハ善ナレトモ、ロミルベキモノナレ

性善然則彼皆非與 今孟子ニハ性ハ善ナリトノ玉フ 孟子曰乃若

有之弗思耳矣

録ストハ金ヲ火ニテトカス一云意ハ仁義礼智ノ性ハ金ヲ火ニテトカレ火勢ヨリテ金ノトケル如ク外ヨリ我カ身ノ

内入リタルモノニアラズ天ヨリウケ生レテ我ガ固有ノ故曰求則得之舍

則失之故曰孟子ノ語ナラン故ニ心ヲイレテ思ヒカラテ求レバコレヲ得

或相倍蓰而無算者不能盡其才者也倍ハ一倍蓰ハ五倍ナリ得ルト

カギリモナキニ至ルハ思ヒ求メオシヒロメテワノオノ詩曰天生蒸民有物有

則詩ハ大雅烝民ノ篇ニ出タリ詩ニハ蒸民ヲ烝ニ作ルモロクナリ物ハ事ナリ

法則アリ耳目アレバ聰明ノ徳民之秉夷好是懿徳秉ハトナリ詩ニ夷ヲ

其知道乎故有物必有則民之秉夷也故好是懿徳孔子コノ詩ヲ

詩ヲツクルモノハ物ノ道理ヲヨク合ヒシタカ此ノユヘニソノイヒタル如クスヘテ

云フナレト蓋レ夫子ハ人ノ常性ニヨリテ情善ナルヲアラハス惻隱羞惡等ノ

心ハスナハチ美德ヲヨミスルノ真情ノ同シキ也ルヲ以テ孟子コレヲ引テ性ノ善

ルヲアカシ又トク処ノ來歴アルヲ示スコレヲ知レハ公都子ガ問フ処ノ三

説モ辨セズノ明ナリ程子ノ注ニ性ハ即チ理ナリ理ハスナハチ善凡舜ヨリ衆人

ニ至ルミテ一ナリ然レモウクル処ノ氣ニ清濁アリテソノスメルヲウクルモノハ

賢トナリソノニコレルヲウクルモノハ愚トナル人トモナシテコレヲオサムルトキハ氣

ノ清濁トナク皆善ニ至リ性ノ本体ニカレバ湯武ハコレヲ身ヨリスト云コレナリ

孔子ノエフ下愚不移トハスナハチ自暴自棄ノ人ナリ又云ク性ヲ論メ氣ヲ論セサ

レバソナハラス氣ヲ論メ性ヲ論ゼザレハアキラカナラスコレヲニツニスルトキハ是ナラズ

張子ノ説ニ人ニテ形アリテ氣質ノ性アリヨクソノ初カレトキハスナハチ本來ノ天

地ノ性存ノ失ハズ此ノユヘニ氣質ノ性ハ性トセズソノ生ツキニユダズト

食コトタリテタノミヨル如ク物多シコノユヘニ人善事ヲ行フテ惡ヲセサルナリヒ

ロク人ト云ハズノ子第ト云ハ年ワカキモノハ時勢ノタニニウツサシヤスキユナリ此ノ章ノ

主意人性ノ善ナルヲ發明スルニアリ凶歳子第多暴凶年ニハタノミヨル如

クソノアイダニ詞ヲカリタトヘタタシ凶歳子第多暴凶年ニハタノミヨル如ク

ナスモ非天之降才爾殊也其所以陷溺其心者然也才ト云フハ才ハ性

ノ能ニメ人ノレワサヨリイヒ來レバナリ心ハ性ノ寓メラル如ナリ云意ハ人ノ善

ヲナレ惡ヲナス一ノ天ヨリオタクダシテカフルノカクノ如クナルニハアラズオハモト

ヨリ善ナレバ困窮ニセメラレ心ヲオトシイラレ今夫麩麥播種而獲之

麩麥ハオホムキナリ獲ストハタ子ヲミキテ鳥ノツヒバヌヤウニ土ヲオホヒ

カケルコト物ニタトヘテ云ナリ來タラミキタ子ヲミキ土ヲオホヒテ

其地同

孟子 子孟子

其地同

樹之時又同地モ同シ地ニテ淳然而生苗ノオイ立至於日至之時イキホヒヲ云

皆熟矣日至ハ熟スベキ時日ノ至ルヲ云德ニ出テ三ノル日ニ雖有一不習俗ニヨリテ性ノチカラ

同則地有肥磽雨露之養人事之不齊也上ノ富歲凶歲ノ説ハ

ツクルモノノ人事ノヒトシフ云コノタトハ八氣質ニヨリテ性ノチガフヲ云イフ意ハモレソノ熟スル処ニ不

故凡同類者舉相似也何獨至於人而疑之同アリト云ヘ凡モトソノ性ノチガフニハアラス地ノ肥タルト磽タルト又アメツユノヤレテヒ

聖人與我同類者天地ノアイダニ生スルモノ同シキニヨリテ三レバ來タノ生

故龍子曰不知足而為履我知其不為貴也至テソノ同シキヲ疑ヒヤ聖人モミタ人ナレバワレト類ヲ同フソノ性ノ善ナルヲ同シカラ

此レヨリ下ハ上一段ノ意ヲトクコト下トノ二段ハタゞ上文ヲウケテ下文ノ意ヲヒキオコスバカリナリ人ニ大小アレソノ形ハチガハザル三人々ノ足ヲヒラスノ履ヲツクレ

履之相似天下之足同也龍子ガ言ニヨリテ孟子云ク

口之於味有同者也足ノ似タルバカリニアタス

先得我口之所老者也易牙ハ古ノ味ヒヲヨクシルモノナリ

如使口之於味也其性與人殊若犬

馬之與我不同類也則天下何者皆從易牙之於味也モレロノアチハヒ

調理スル処ノアチハヒヲ美ナリトノコレニ從フアランヤ至テハ

下期於易牙期ストハ待ツ義ナリアシバヒノヨレラ議スルニ是天下之口

相似也天下中ガ易牙ノ調理ヲニツハ人々惟耳亦然耳ノ声ニラケルモ

於聲天下期於師曠是天下之耳相似也声ハ五音ノ調子ヲ云惟目

亦然目ノ色ニラケル至於子都天下莫不知其姣也如余ナリ

者無目者也子都ハ春秋ノ時鄭ノ大夫公孫闕ナリ故曰口之於味也有

同者焉耳之於聲也有同聽焉目之於色也有同美焉至於心

獨無所同然乎以上ノタトハ物ヨリソ人ヒ及ヒ人ヨリノ心ニ至ルハヤウクニ粗

リ精ヲトクナリ故曰口ハ子都子ノイフ如ナリ云意ハ人ノ性ハ三

七

子都



ナ善ナルモノユヘロノガハニラケル耳ノキ、目ノミル処スベテ同シ 心之所同

者何也謂理也義也 物ヲオゾカフソチハリタル理ト云モノアリテソノ理ノヨロシキ処

ヲスヘヲクハ義ナリ理ハ体ニシテ義ハ用ナリ 聖人先得我心之所同然耳

聖人ナレバトテ別ニカハリタル人ニモアラズソノ性モトワレト同ジキユヘ理義ノ外ニ

テ易牙ガ人々ノスク味ヒラ 故理義之悦我心猶芻豢之悦我口 牛羊犬

豕ノ類ナリイヅレモ肉味ノ美ナルモノナリ 理義ハ人々ノシラスル処ナルユヘ我ガ身ニ

コレヲ行ヒ我ガ心ニコ、ロヨシトスルコト牛羊犬豕ノ我ガロシムニク ロヲヨロバシムルガ如シト

程子ノ説ニ孟子ノ此ノ語親切ニ味ヒアリ 理義ノ心ニコ、ロヨシキコト實ニ芻豢ノロシム

ナクコレヲ知ラサルモノハ目ナキ人ノ子都ガカホキヲシラザルガ如シ人ノ同類 孟子

牛山ノ木嘗美矣 牛山ハ齊ノ東南ニアル山ナリムカシハ此ノ山ノ木ハ上ニシテ

夜之所息雨露之所潤非無萌蘖之生焉 是ハ牛山ノ木ヲサス息スト

ノメ蘖ハメノ斤ワキヘ出ルヲ云ナリ云意ハ山モキリアラサレテ人ハウルハシトハセ

ラレ子然レ日陰陽気化ノ流行タヘズヨリテ生息スル処ノ気ヤ又アメツユノ

濡也 濡々ハ草木モ生セズノハゲ山ノ如クナルヲ云上ノ通りナレハ切リアラシ

ハナチテ草木ノメヲ物ニヨリ 人見其濯濯也以爲未嘗有材焉此

濯濯トハゲ山ニナリシナリ 人見其濯濯也以爲未嘗有材焉此

豈山之性也哉 人ソノ濯濯トハゲタルヲミテムカシカラ 林木ノアツサリシ山ナリ

如クナ 雖存乎人者豈無仁義之心哉 コレヨリ下ハ人心ノトリハナレニスル

ハナニク人ヲミレバ仁義ノ心ナキガ如クナリト云ヘ 其所以放其良心者亦

猶斧斤之於木也且且而伐之可以爲美乎 上ノ其ノ字ハソノ人ヲサス良心

ノ心ヲサス且々ハ目々ト云ガ如シ私欲ノタメニ良心ヲ 其日夜之所息平日之氣

其好惡與人相近也者幾希則其且晝之所爲有措亡之矣 平且トハ

夜アテ

方ノクラキトキヲ云 格ハカセナリ 手カセ足カセト云テ此ノ方ノ手錠ノ類ナリ  
罪人ニカセヲツケテハタラカセザルヲ云亡ハウレナフナリスベテ物ヲソコナヒスツルヲテ  
コノ意ハ良心私欲ニソコナハルトイヘ凡人身日夜ノ間生々ノ氣ニヤレハレテ良心  
ナラ生息スル処アリコトニ夜間ノ生息スル処々キヲ以テ平且イマダ物トミジハラサルトキニ其  
氣スミレツリテカノ善ヲコノ三惡ヲニクム同然ル良心人々凡ニ相近キノモノスコシ  
キアリシカレラ其アサヒルノアイダノ私欲ノオス処ニタ格亡ノ是ヲソコナフハ山木ス至  
キラレテナラ萌蘖ノ生スル 格之反覆則其夜氣不足以存 反覆ハウチ  
ヲハ牛羊ニクワスルカ如シト 格之反覆則其夜氣不足以存 反覆ハウチ  
コナラニナルコトヒルノスル処ステニユラベノ生スル処ヲソコナフユヘニコヨヒノ生スル処又  
ヒルノスル処ニカツアタハズカクノ如クニ展轉ノ相ソコナヒ夜氣ノ息スルコトソコノウ  
クナリテツイニ仁義ノ良心ヲ 夜氣不足以存則其違禽獸不遠矣 違ハ  
夕モナモリテ存得ルナラズ 夜氣不足以存則其違禽獸不遠矣 違ハ  
シツカニ氣スミタルツカ良心ヲヤレナフニ足ラザルトキハ 人見其禽獸也而以  
人ノ形ハソナハリテモ好惡人ト述カラズノ禽獸ヲ去ルテ遠ク 人見其禽獸也而以  
爲未嘗有才焉者是豈人之情也哉 他ノ人カトリククタモノニ同レヤウ  
ハレメヨリ蓋ラナスノオナキモノトオモヘリ オハ性ニ本ツキテ性アラハレテ情  
トナルコトヲレラス人ノ情ハモト善ニメ人ノオハモトヨク善ヲナスニ定メリリ善ヲスル  
コトアタハザルハ且晝格亡スルユヘナリ是レナニレニ人ノ情ナラニヤト 故苟得其  
此ノ段モ上ノ見其濯也ノ一段ニ合ヒテ云ナリ 養無物不長苟失其養無物不消 長スルハ微ニモキユルヲ  
養無物不長苟失其養無物不消 長スルハ微ニモキユルヲ  
云コレ山木人心ソノ孔子曰操則存舍則亡出入無時莫知其鄉惟心  
理同一ナリト云フ 孔子曰操則存舍則亡出入無時莫知其鄉惟心  
之謂與 操ルトハヒキタツル意ナリ 舍ツトハハナチラク義ナリ 亡ストハ失フ義ナリ云  
ルコトアタハザレバソノ出テ物ヲ外ニ追フトタマヘテ内ニ存スルトミナ 荒忽トノ常ノ時  
ナクヨリテ又定レル處知ラズカクノ如クナル者ハコレタ人ノ心ノナリト夫子人心ノトリ  
トメガタキ体ヲカタトリテコレヲ操存ニシテアルベカラサルヲ示セリ 孟子スナハチ上支存  
養ノ意ニヨリユレヲ引テオモヘラク人心ノ靈明不滅ナルトリ失フコトヤスク保チ守ルコ  
カタシ學者時トノ存養ノ功夫ヲ用ヒスト云フナカルヘシトモレヨク養ヒ得テ神清ニ氣定マ  
ルコト常ニ平且ノ時ノ如クナラシムレバ此心常ニ存メユクト仁 生我ニラフスト云フナレ程子ノ云  
クコレヲ操ルノ道敬以テ内ヲ直クスルノミナリト 季氏ノ云ク孟子コノ夜氣ノ  
説ヲ發ス學者ニヨリテ操メテカアリ宜クツラク 深ク省スヘシ ○孟子

子曰無或乎王之不智也 王ハ齊王ヲサスナルベシ云意ハ王ノ無智  
下易生之物也一日暴之十日寒之未有能生者也 此ヨリ下ハ不智ナル  
スキ物トハ天下ノ内ニテ尤發生シ 吾見亦罕矣吾退而寒之者至矣 我王ニミ  
ヤスキ物ナリ草木ノ類ニツキテ云 吾見亦罕矣吾退而寒之者至矣 我王ニミ  
レナルハナラ一日コレヲ暴ルカ如シ我退テ後ハコトヘツラヒテ王ノ私欲ヲムカ  
タスクルトモカラ来ツドヒテ常ニラノ左右ナリテ十日コレヲ寒ニスガ如ク  
崩焉何哉 王タマク良知ノキサスコトアリトイヘ凡一暴ト寒ノ中ニテ  
今夫奔之

為數小數也 此ヨリ下ハ又タトヘテアケテ上段ノ音心ヲカサ 不專心致志則不得 此ハ孟子ニシテ

也 心ヲ專ニシテ他ノ念ナク志ヲキメテ精ク求 弈秋通國之善弈者也 事秋トハ古ノ善ヲヨク

國ニ通メテ手ナリ 使弈秋誨二人弈其一人專心致志惟弈秋之

為聽 奕秋ガ教ル所ヲ 一人雖聽之一心以為有鴻鵠將至思援弓

繳而射之 鴻鵠ハミナ鷹ニ似テ大イナル鳥ナリ 繳トハ矢ニ絲ヲツケ鳥ニイカケテミト

雖與之俱學弗若之矣 人テ一人ト共ニ奕マナフトイヘタラス 為

是其智弗若與曰非然也 コレ問答ノ詞ヲマケテオモヘラク二人同學ノ一人ツ

習フイノラソカナルニヨリテツトコレヲ以テ不智ナル故ヲアカスソレ亦諷諫ノ意ナルベシ

○范氏ノ云ク人君ノ心ハタツ養フ所ニアリ君子コレヲ養フニ善ヲ以テスル時ハ則チ

智アリ小人コレヲ養フニ惡ヲ以テスル時ハ則チ愚ナリ然レバ賢人ハ蹠ニヤスク小人ハ親レ

沿レル日當中ニ少クメ亂ル日當ニ多キト蓋シコレヲ以テナリ ○孟子曰魚我所欲也能掌亦我

欲也二者不可得兼舍魚而取熊掌者也 此立卑人ヲメ善惡ノ心

亦我所欲也義亦我所欲也二者不可得兼舍生而取義者也 此ヨリ

立意トク今義ノ死スベキニタレル時死ヲ免レテ生ヲ存スルモ亦ワカ欲スル所ナリ死ニ就キテ

義ヲ立ルモ亦ワカ欲スル所ナリサレド義ハ生ヨリモ重キ故ニツツカテ得死時ハ必生ヲ去ク義取者ナリ

生亦我所欲所欲有甚於生者故不為苟得也 此ヨリ下二段ハ上文生ヲ舍フ義ヲ取ル故ヲ釋ス欲スル所

死亦我所欲惡所惡有甚於死者故患有所不辟也 コレ上段ヲウラカヘシトク

如使人之所欲莫甚於生則凡 死ヨリ甚キ者ハコレ善惡ノ真憤ニテ即亦

可以得生者何不用也 此ヨリ下ハ又上文ノ立意ヲクリ及レテ發明ス此上下ノ段ハ下文

使人之所惡莫甚於死者則凡可以辟患 生ヲ得ベキコトナシノ顧ル所

者何不為也 人モレ善惡ノ真情ナクハ凡ソ患難ヲノガル 由是則生而有不用

也由是則可以辟患而有不為也 コレ上二段ノコトヘナリ由是ト 是故所

欲有甚於生者所惡有甚於死者非獨賢者有是心也人皆

有之賢者能勿喪耳 テ去テ故ニ理義ノ良心蓋惡ノ真情ハ賢者ノコレアル

一箪食一豆羹得之則 此ヨリ下ハ羞惡ノ心人ニナコレアルシテ明ニ示ス箪食ハ飯ヲモル豆羹ハキハクテ小キナル食ナリ

生弗得則死 此ヨリ下ハ羞惡ノ心人ニナコレアルシテ明ニ示ス箪食ハ飯ヲモル豆羹ハキハクテ小キナル食ナリ

噤爾而與之 ハ上ノ字ニテカタル詞ナリ

行道之人弗受 ハ上ノ字ニテカタル詞ナリ

蹴爾而與之 ハ上ノ字ニテカタル詞ナリ

乞人不屑 ハ上ノ字ニテカタル詞ナリ

也 ハ上ノ字ニテカタル詞ナリ

受之萬鍾於我何加焉 此ノ萬鍾オモイトイヘ亦身ノ外ノ物ナリ

為宮室之美妻妾之奉所識窮 此段人ノ羞惡ノ心ヲ忘ルノ由緒ニ此三ツヲ以テ例ヲクルナリ一ツニ宮室ノ美ハ居處ヲ華美ニスルヲ云ル身ヲ奉養スルヲ云ル一ツニ妻妾ノ奉養スルヲ云ル一ツニ妻妾ノ奉養スルヲ云ル

乏者得我與 此段人ノ羞惡ノ心ヲ忘ルノ由緒ニ此三ツヲ以テ例ヲクルナリ一ツニ宮室ノ美ハ居處ヲ華美ニスルヲ云ル身ヲ奉養スルヲ云ル一ツニ妻妾ノ奉養スルヲ云ル

鄉為身死而不受 今此ニツノ欲ニオホヒクマサレ忽テ其心ヲ忘レテ自不義ヲ行フアリ

今此ニツノ欲ニオホヒクマサレ 今此ニツノ欲ニオホヒクマサレ忽テ其心ヲ忘レテ自不義ヲ行フアリ

是亦不可以已 是トハ上文ノ三ツノ者ヲサス此三ツハ皆ワカ節義ニアツカササル事ニシテ死生ニ比スレバ甚輕シ出豆ヤメカタキナラヤ然ルニ

乎此之謂失其本心 是トハ上文ノ三ツノ者ヲサス此三ツハ皆ワカ節義ニアツカササル事ニシテ死生ニ比スレバ甚輕シ出豆ヤメカタキナラヤ然ルニ

君子之居也 君子ハ常ニ居テモ變ニアヒテモユクトソノ本心ヲウケテナシ

決スル 決スルハ分レバ安閑ノ日ハ私欲ニクシクマサレテ自奉スル所ノ厚薄ヲ計ルコト

孟子曰仁人心也 仁ハ人心ノ徳ニシテ心ニツナハレル理ナリ然レバ安閑ハ此心ノ心タル所以

此身ノ萬事ニ應スル 此身ノ萬事ニ應スル此身ノ萬事ニ應スル此身ノ萬事ニ應スル

故二程子ノ云ク心 故二程子ノ云ク心ハ穀種ノ如シ仁ハ則ソノ生ノ性ナリト蓋仁ハ米穀ノ種ノ如クテ其内ニ發生ノ性アル象コレ仁ナリ朱子仁ヲ訓メ云ク心ノ徳ニシテ愛ノ理アリト今此ニ説ク合

人心ニ慈愛ノ理アル 人心ニ慈愛ノ理アルハコレ人心ノ徳ナリ

義人路也 義人ハ心ノ萬事ヲ處置ノ行フノ宜キ所

ナリコレハ人ノ路ト云時ハ九ノ出入往來必  
由ル所ノ道路ヲ道更モステラクニレテ知ル  
舍其路而弗由放其心而不知求

哀哉 人モシ其路ヲステテコレニ由リシタカフコトヲ知ラザレバユク所三ナ崎嶇荆棘其  
心ヲ放チヤリテコレヲタツ子カヘスコトヲ忘ルレバ百體其弊ナク自其身ノ在ル處ヲ

タニモレラズヨリテコレヲ數キテ云ク哀イカナト朱子ノ云ク哀哉ノ  
二字最宜ク詳ニ味フベシ人ヲノ惕然トシ深ク省ル處アラシト 人有雞犬放則知

求之有放心而不知求 程子ノ云ク心ハ至リテ重シ雞犬ハ至リテ輕シ雞犬ノ放テ  
放ル時ハ則コレヲ求ルコトヲ知ル心ノ放ル時ハ則

コレヲ求ルコトヲ知ラス豈ソノ至輕ヲ受タノ至重ヲ忘レシヤ思ハザルノ三ト況ヤ雞犬ノ放テ  
ルハ必シモタツ子得ラザルアリ心ハワツカニ求レハ則コレヲ求メテ得スト云コトナレ又上文ニハ

仁義ヲ兼テ云此ヨリ下ハタ、放心ヲ求ルコトヲ論ズ蓋シ仁ハ即心ノ徳ニシテ  
義ヲ兼テ得タリ人ヨク放心ヲ求レバララカニ仁ニカス義亦其中ニシテ 學問之道無

他求其放心而已矣 凡ソ學問ノ事目ハ致知ヲ行フニ在リト云フソノ  
由リテ道トスルハ他ノ方法ナレバソノ放心ヲ求ルガタメ

ニスル學問ナルノミナリ人ヨク放心ヲ求ル時ハ其志サハヤカニシテ外物ニタハマサレズ其心  
アキラカニシテ私欲ニクラマサレズモシ然ラザル時ハ則昏昧放逸ニテ常ニ學問ノ事ト

ストイフ所ツイニ得ル一ツナカレベキナリコノ故程子オモヘタク聖賢ノ千言萬語ヲ教ヘ  
只コレ入ステニ放テル心ヲトリオサメテ此身ニ及リ入ラマク欲メナリ人コノ志心ヲ得ル時ハ

自ラヨク向上ノ地ヲタツ子 〇孟子曰今有無名之指屈而不信 指大ヲ  
まり下學ノ上達スト

指トイヒニヲ食指トイヒニヲ將指トイヒニヲ無 非疾痛害事也 指カ  
指トイヒニヲ食指トイヒニヲ將指トイヒニヲ無 非疾痛害事也 指カ

若人也 秦ハ西楚ハ南三ノ中國ヨリ遠キ國ナリ云意ハモレヨク指ヲノフル者ゾバ 指  
必遠路ノ勞ヲハハカラズノユカシコレタ、一指ノ人ニシカザルガタメナリ

不若人則知惡之心不若人則不知惡此之謂不知類也 不知類ハ  
キ類ニ從ヒ輕キ者ハ輕キ類ニ從フコトヲ知ラズバコレト

欲生之皆知所以養之者 拱トハ兩手ニテ圍ムホドノ大イサヲ云祀トハカタテニテニ  
コレヲ生長セマク欲スレバ必拱把ノ時 至於身而不知所以養之者 養  
エカヒ養フスベテ知リテ其カヲ用フ

愛身不若桐梓哉弗思甚也 云意ハソノ本心ニハ豈身ヲ愛スルコト桐梓ニシカザ  
ヒミナルノ甚キ者ナリトコレ亦上ノ章ノ 〇孟子曰人之於身也兼所愛

心志口腹四肢百體イツレモ兼テコレヲ愛ス 兼所愛則兼所養也 一身百體カ  
シ敢テソコナヒヤアラザルコトヲ人ミナ然ルリ

所ナルニ故ニ亦ミナカ子テ保 無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不  
美良セズト云コトナシ

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

無尺寸之膚不愛焉則無尺寸之膚不

養也

此段ハ即兼テ愛養スルノ意ヲトク又ハ二尺一寸ニ於テ身ノ身ノウスカハスベテ小キナルコトヲイヘリ

所以考其善不善

者豈有他哉於已取之而已矣

云意ハソノ善惡ハ善キトヨカラザルト考ヘテ欲ヒソノ善キトヨカラザルト考ヘテ

身ニ反リテソノ養フ所輕重ノ宜キ稱ヤ各ヤラツマビラカニトリハカリ

體有貴賤

有小大無以小害大無以賤害貴

此段上文ノ已ラコトヲ取ルノ意ヲトシテ體ノ大イテ貴キ者ハ心志ナリ小キテ賤キ者ハ口腹ノ類ナリ心ハ一身ニ主トシ百體コレニ使ハルヲ以テ貴賤ヲワクハ衆

賤キ者ハ口腹ノ類ナリ心ハ一身ニ主トシ百體コレニ使ハルヲ以テ貴賤ヲワクハ衆

其小者爲小人養其大者爲大人

此段養ヒノ善キトヨカラザルトトク大ニ小ノ字ハ貴賤ヲカキタリ蓋シソノ大

體ヲ養ヒテ大体ニラロカナル小人ト云ヨク大

今有場師舍其梧楨養其

楸棘則爲賤場師焉

場ハ楸木ヲウヘラク場ナリ其奉行ヲ場師ト云楸ハ楸棘ハ棘ニシテ良木ナリ楸棘ハ棘ノ類小キニヨカラザルナリ

養其一指而

失其肩背而不知也則爲狼疾人也

モレ一指ノ小ヲマモリヤシナヒテ肩背ノ大ヲスレ然ルラサトラザル

者コレヲ狼疾ノ人ト云ナリ狼ハヨク其身ヲカケリミル者ナレ疾メ

飲食之人則

人賤之矣爲其養小以失大也

モツハラ飲食ヲ以テ口腹ヲ養フコトヲ知ル者

疾ノ人ノ如ク口腹ノ小キナルヲ養ヒテ

飲食之人無有失也則口腹豈

適爲尺寸之膚哉

云意ハモレ口腹ヲ養フ人亦ヨク心志ノ養ヒラフスレハ口腹ノ養ヒハコレ身命ノカレハ尺寸ノ膚ヲ肥ヤスカ如クナルミトセシヤ然レハ小ヲ養フ者ハ必大ヲ失ヒテ

或爲大人或爲小人何也

公都子問曰鈞是人也

ト云一何

孟子曰從其大體爲大人從其小體爲小人

其大體或從其小體何也

曰鈞是人也或從

目之官不思而蔽於物物交物則引之而已矣

官トハツカサドル所ヲ云耳ハ聽クコトヲツカサトリ目ハ

視ルコトヲツカサドル所ニ屬セザルヲ以テ思フコトナレ聲物ノ聲色來リテ

欲來リテ此物ニ交ル時ハコレヲ辨ニ由リ難カラヌナリ

得之不思則不得也

心ノツカサドル所ハコレ思慮ニモヨク砂体ノ主宰トナリ萬事ヲ裁  
制スユノ故ニ人ヨクコレニ反リテ思慮スル時ハ宰制スル所道理

ヲ得モレ思慮セザル時ハタゞコレ妄念雜慮或反リテ耳目ノ欲ニ後ヒ去ル  
カクノ如クナルハ空手制ノ思ヒニアラズヨリテ其理ヲ得ザルナリ 此天之所與

我者 耳目ト心トニツノ者ニナ天ヨリ我ニウミア 先立乎其大者則其小者不能

奪也 大イナル者ハ大体心ヲ云小キナル者ハ小体耳目百体ノ欲ヲ云人ヨクマズ其心ヲ  
主宰トタテサダメテ事トノ思ハスト云一ナキ時ハ則百体ノ欲コレヲ引キ奪フ

此為大人而已矣 大人ト云ハ他ヲラス只カクノ如クナル人ヲ大人ト云ノミツト大  
人ヲ論スル時ハ則小人ノオモキモコレニ及ノ知ルハナリ

○孟子曰有<sup>レ</sup>天爵者有<sup>レ</sup>人爵者 爵ハクラ井ナリ天爵ト我ニ天然ノ貴フ  
ベキ所アリテ人ニムバンザル者ヲ云人爵

仁義忠信樂善不倦此天爵也 仁義ハ  
トハ人ノ貴クスル所ヲソワガ思フマニナラザルモノヲイフ

公卿大夫此人爵也 王侯モ人爵ナリサレモ此章ハ  
土人ヲ論ズルユヘニコレヲイハズ 古之人脩其天爵

而人爵從之 古人ハ天爵ヲ修行ノ其徳成ル時ハ君上コレニ後ヒテ人爵ヲサツク  
蓋シ天爵ヲ修スルハワガ一分ノセズノカナハサル一ニ人爵ヲ求ル

今之人脩其天爵以要人爵既得又爵而

棄其天爵則惑之甚者也 天爵ヲ修メ以テ人爵ヲ求ル心スデニコレ惑ヒナルニ  
人爵ヲ得テ天爵ヲスツルハソノ惑ヘルヲ甚シシ

始<sup>レ</sup>ヨリ<sup>テ</sup>天爵ヲ修スル<sup>レ</sup>人爵ヲ得<sup>レ</sup>謙<sup>ト</sup>ナレバ信實ノ修<sup>レ</sup>終<sup>レ</sup>亦必亡<sup>レ</sup>而

已矣 ツイニハ亦人爵ヲモ必共ニウレナハバカリゾト蓋シ天ト人ヲ欺キテ得ル者  
ハツイニコレヲ失ハスト云一ナレ ○孟子曰欲貴者人之同心也

ル者ヲイマシム今ハ又天爵ヲ枉テ以テ人爵ヲ求ル者多シソノ惑ヘル一愈甚シ ○孟子曰欲貴者人之同心也

人人有貴於己者弗思耳 貴ブベキ  
者即カ

人之所貴者非良貴也 良トハ本來自然ニヨキ意ナリ人ノ己ニ爵位ヲサツケテ  
貴クスル所ノ者ハコレ人爵ト本然ノ貴キマラザルナリ 趙孟之所貴趙孟

能賤之 コレ亦上段ノ意ヲトク趙孟ハ晋ノ卿趙氏ソノカミ呼テ趙孟ト云最權  
勢アル者ニモヨク人ヲ進退スヨリテ云ク趙孟カ爵位ヲアタヘテ貴クスル

詩云既醉以酒既飽以德言飽乎

仁義也 詩ハ大雅既醉ノ篇ノ詞ナリ詩ノ本意ハ人酒ヲ以テ我ヲエハシメ徳ヲ以テ我  
ヲアカシムト云義ナルヲコニ借リ引テコレ分ノトナレ下一句ノ義ヲ主トス

所以不願人之膏

トリ乃コレヲ釋ノ云クワガ心仁義ニ飽キ足ル一ヲイヘリト蓋シ  
其徳内ニ充ル時ハコレヲ樂ミテ厭ハズコレヲ用テ韜リナレ

孟子

梁之味也

膏ハアブラ肉食ノ肥タル者ヲ云梁ハアノ類五穀ノ美ナル者ナリ我ステニ仁義ニアキタルコノ故ニラノツカラ人ノ膏梁ノ美味ヲ以テワカロ臆ヲ養

ハマク欲ス

令聞廣譽施於身

令ハヨキ義ナリ聞ハ名聞ナリ廣キ譽レハ即令聞ル心ナリ

所以不願入之文

繡也

文ハ彩繡ハヌイモノスベテ衣服ノ美ナルヲ云句義ハ上ニ同シ蓋シ心ハ仁義ニアキタリテ人ノ美食ヲアヘン

一ヲ願ハズ身ハ名譽ヲサカニカウフリテ人ノ美臆ヲ加ヘンヲ願ハズ天爵ノ良貴ナルヲカク如シ ○尹氏ノ云ク云意ハ我ニ在ル者重キ時ハ則外物輕シク

子曰仁之勝不仁也

猶水勝火

仁ハ人心本然ノ天理ニ本ツク不仁ハ形氣ノ私欲ヨリ出來ルコノ故ニ仁ノ不仁ニカツハナラ水

ノ火ニカツガ如シ ○今之爲仁者猶以一杯水救一車薪之火也 一杯タメ然ノ道理ナリ

一車ハクルマニ兩ナリ今ノ仁ヲ修スル者ソノ功ヲ用ルツトメテ大イナル不仁ヲ知チ濟メントスコレナラ一杯ノ水ヲ以テ一車ノ薪ノヤクル火ヲ救ヒトメントスルカ如シ

熄則謂之水不勝火

仁ヲツトメズノ不仁ニカツエザル時仁ハ不仁ニカツザル者

此又與於不仁之甚者也

亦終必亡而已矣

仁ヲ修メ不仁ニカツエザルハコ

レモナラ不仁ノ徒ナリ而ノ人モ亦ワガ不仁ニ讓スルヲ見テマコトニ仁ハ不仁ニカツザル者トセハコレ又人ノ不仁ヲタスクルヲ甚タシ

孟子曰五穀者種之美者也 五穀ハ取ヨキ者ナリト 苟

爲不熟不如黃稗

夫仁亦在乎熟之而已

ノ熟シタルニモシカズナラ仁ハ美德ナリトイヘコレヲ修スルヲ熟セザレバ反テ他道ノ成ルヲアルニシカサルカ如シ

矣 稗ノ美ナルヲタノミテ 增養ノ切ニラコタルベカラストナリサレハ亦ソノ熟シガタキヲ以テソノ成ル時ヲ一タシヨリハイツツ他道ヲナスヘシトニハアラズ一説ニ黃

稗ニモシカズトハタバコレ五穀熟セサレバソノウルハレキヲウレナヒテ 黃稗

ニタモシカズト然レバ他道ノ成ルヲアルト云義ニモア

○孟子曰羿之教人射

必志於毅 羿ガ前ニ見エタリ毅トハ矢ヲ十分ニヒキミツルヲ云コレヲ志ストハコニ至

手ナレバ人ニ射ヲ教ルニハタシ 學者亦必志於毅 射ヲ學ブ者タレトモ亦タシ

コレヲ以テメ別ノ法ナシ 大匠誨人必以規矩 學者亦必以規矩

前ニ見エタリ規矩ハコレタクミニ用ルノ法ナリ句義ハ此ニ同シ

一説ニ兩段各一義ナリ上ハコレ學者ノ志必深ク造ルベキタトニト下ハ學者ノ



法必正道  
ベキトトヘヨル

告子章句下

任人有問屋廬子曰禮與食孰重曰禮重  
任人又問屋廬子答曰蓋飲食男女人之大欲也然於禮八

禮孰重曰禮重  
任人又問屋廬子答曰蓋飲食男女人之大欲也然於禮八

死不以禮食則得食必以禮乎  
死不以禮食則得食必以禮乎

新迎則不得妻不親迎則得妻必親迎乎  
新迎則不得妻不親迎則得妻必親迎乎

屋廬子不能對明  
屋廬子不能對明

孟子曰於答  
孟子曰於答

是也何有  
是也何有

不揣其本而齊其末方寸之木可使高於  
不揣其本而齊其末方寸之木可使高於

岑樓  
岑樓

高樓  
高樓

食色  
食色

禮  
禮

孟子  
孟子

告子  
告子

章句  
章句

間ニ礼ヨリ事ノ重キヲ金重於羽者豈謂一鈞金與一輿羽之謂哉鈞

モノアルヘキナリ 茲束ノ鞞帶ヲレムルヲビカギニテ小ギナク者ナリ輿クルナリ云心ハ金ヲ羽ヨリ重レト云

ハ常ノナリモレニ鈞ノ金ト一車ノ羽トヲ多ラフルハ金ヨリ羽ヲモレ豈カヤウノヲ云トセシヤレ

ヲ云フニアラストコレ食色ノ礼ト取食之重者與禮之輕者而比之奚趣食

重食ノ重キハ食セズノ死スルヲ云礼ノ輕キトハ食ラフタフルノ礼ヲ云ナシツク食重ト取

色之重者與禮之輕者而比之奚趣色重云礼ノ輕キトハ親近ノ礼ヲ云

句義上三同レ按スルニ飲食ノ礼節カクヘカラサル者アリ婚禮ノ親近モ輕キトハ親近ノ礼ヲ云

トレカタシ此ノ二段ノ輕重上文ノ事ニアテスノ造イヒタル詞トメ然ルヘキ歟 往應之

曰終兄之臂而奪之食則得食不終則不得食則將終之乎終

トハ子キル義ナリコノ食モ死生ニカル食ラ云コレ礼ト 踰東家牆而摸其處子

食トナラヒニ重キモノヲ多ラテテ食ヨリ礼ノ重キヲ云 則得妻不摸則不得妻則將摸之乎

二重キモノヲ多クラフ句義上三同レ○此ノ章云心ハ義事物ノ輕重相ツカセラルトモトヨリ大

段ノ分量アリ然レ礼ソノ申ライキ又ラノク輕重ノ差別アリ聖賢具コニラシテ組子カヘ醜ハカ

リテ髣髴モタカヘズトヨリ終ヲ極テ尋ラフルノ私ナラシ又柱ニツク曹交問曰人皆可

以爲堯舜有諸 曹交ハ曹ノ君ノ弟ナリ時ニ鄰ニアリテ孟子ニ問フ人三ノ以テ堯舜

其理アリヤ 孟子曰然道理カク 交聞文王十尺湯九尺今交九尺四

寸以長食粟而已如何則可 曹交カ問ナリ以長トハ以上ト云ガ如レ云心ハ形

体ヲ以テ云時ハ身ノ長文王ニ及バサレ礼湯ニスキ

タリサレ礼冬米ヲハムカリニテ他ノ才能ナレ聖人トナルヲイカシカメカ則可ナリ曰奚有於

是亦爲之而已矣 孟聖人ヲ學フナシソ形体ノ異同ニカルトアラシタ、修爲工

有人於此力不能勝一匹雛則爲無力人矣 匹ハ鳴ト同レ俗ニ云アヒル

テソノ力一ツノ鳴雛ヲアクルニ 今曰舉百鈞則爲有力人矣 今ヨク百鈞ヲアク

タエサレハ則コレヲ力ナキ人トス 雛ハヒヨコナリコニ人アリ

コレカア 然則舉鳥獲之任是亦爲鳥獲而已矣 鳥獲ハ古ノ強カノ人ヨ

任トハ荷ナリ此三段力量ヲ論スルニ其ノ人カララテセサルヲ云コラ以テ人ハタレ

ニテモアレ只聖人ノ事ヲスルモノハ節コレ聖人ナリト云タトヘニトリテ下文ノ心ヲオコセリ

夫人豈以不勝爲患哉弗爲耳 ソレ人豈聖人トナルニタヘサルヲウレヘ

徐行

後長者謂之弟疾行先長者謂之不弟夫徐行者豈人所不能

哉所不爲也

此ヨリ下ハ堯舜ノ道モツクテハ孝弟ニスキズメテモナルヘキコトイヒテ

ヲ以テ其例 堯舜之道孝弟而已矣

人性ノ徳仁義ヨリ大ナルハナル仁ノ道ハ親ヲ愛スルヲ以テ先トス義ノ道ハ兄弟

ヲ以テ先トスコノニツハ孝弟ノ行由リテ立ツ処ノモノナリ孝弟ノ行ヲ推シヒロクテツクニ

ル時ハ仁義ノ徳ニツイテモ亦盡サスト云フコトナシコノ故ニ堯舜ノ至徳大道モ亦孝弟ノ

一言以テコレヲ蔽フヘキナリ陳氏ノ云ク孝弟ハ人ノ良知良能自然ノ性ナリ堯舜人倫

ノ至リナルモ亦コレノ性ニ率カルノ三豎ヨク毫髪ヲモコレニ加ヘンヤ楊氏ヲモヘラク堯舜ノ道大

イナリトイヘルコレヲスルコト日用常行ノ間ニアリ高遠ヲ行ヒカタクコトアル 子服堯之服

ニアラス世ノ人常ニソノ中ニイテコレト共ニスレハ自知ラズ覺ヘルノミト 誦堯之言行堯之行是桀而已矣

堯ノ衣服言行ハ即チ法服法言徳行ナリ言ハ服ヨリモ深ク行ハ

人ナルコトキ又コレヲウラカヘテ桀カコトトリアハセ凡ソ善人トナランモ惡人トナランモ皆

ワガスル処ニアルコトイヘリ蓋シ曹交カ問フ処淺陋粗率ニソノ長者見參ノ時礼義

衣服言動ノ間理ニアタサルコト多シ 曰交得見於鄒君可以假館願留而

受業於門 鄒君ニミユルコト得ハコレヨリテ館舎ヲカリウケテ居リ子ガクハ鄒ニ留

又ソノ道ヲ求ルコト篤カラ 曰夫道若大路然豈難知哉人病不求耳

大路ノ如シト人々共ニ由ル処ナレバ知リカタクコトニアラス 子歸而求之有餘師

只人ノ求メテコレニ由ラサルコトノ病フル処ナルノミト 公孫丑問曰高子曰小弁小人之詩也

トスル処多キコトイヘリ云心ハ子國ニカヘリテ道ヲ孝弟ノ間ニ求メハ性分ノ内萬理ヲ備リ

居ル処ニ隨ヒ發見ノ師トスヘカラスト云処ナケン必シモコト留リテ業ヲウケザレトナリ曹交

長者ニミユルノ礼ウヤクシカラズ道ヲ求ル心又篤カラスノイタ教ヲ施スニタラスコト故ニ孟子

尺コレニ教ルニ孝弟ノ大意ヲ以テソノ業ヲ受ルコトヲ示サズ蓋シ行テ餘カアル則チモチヒテ文ヲ

学ノ心コレヲ屑トシ教誨 サセルモ亦コレヲ教ルナリ 高子曰 何以致之

何ヲ以テカ小人ノ詩トハ云フト 曰怨 小弁ノ詩自歎キ怨ムコト深クソノ親ニ及バ

高叟之爲詩也 固哉トハ執滞ノ義理人情ニ通セサルコト云高叟高子

此越人關弓而射之則已談笑而道之無他疏之也 越ハ蛮夷ノ

弓ヲ以テテ人ヲ射コロサントセバソノ罪ヲ得ンコトイタミレク思ヒテワレコレト云ム 其兄關

孟子云亦他ナレ兄ヲ 他人ノ悪行ヲ見テハウソ人 小弁之怨親親也親親仁也 ウソキ故ニサミテ心ニカケズ

小弁ノ詩ハ親ノ不仁ヲカ身ニセリタルヲ哀ニ怨ムコレヲ親ヲ親ムカ故ニ親ヲ シタシムハ仁心ノ發スル処ナリトコレヲ以テソノ小人ノ詩ニアラザルコトヲ示ス

固矣夫高叟之爲詩也 詩多ビコレヲイヒテフカクソノ 曰凱風何以不怨 凱風ハ坤風ノ篇ノ名衛ニ七子ヲモテルヤモメアリ貞節ヲモリカ子テト人ニ嫁セントス

凱風ハ坤風ノ篇ノ名衛ニ七子ヲモテルヤモメアリ貞節ヲモリカ子テト人ニ嫁セントス ヨリテソノ子トモ此ノ詩ヲツリ子七人アレハ母ノ心ヲナクサメテソノ室ニ安シ居ラシムルコトヲ

ハ突ト自責メタリ丑又トフ凱風ノ詩モ親ノヒカコナルヲソノ子 ナソノ只自責メテ親ヲウラミザルトモナラ小弁ノ怨非トスナリ 曰凱風親之過小

者也 アヤツツ処ヲク身ツニ 小弁親之過大者也 正后ヲレリクテ太子ヲスツルハ

親之過大而不怨是愈疏也 親ステニララテテラレタルニワレ親ノ大過ヲ 見テモ心トセス怨ニサハハワレ又己ヲイヨクウツ

親之過小而怨是不可磯也 磯トハ水ノナカレテアタル石ナリ水急ナレハ 怒リサカマクハハガレコレ石ヲ母ニタトヘ水ヲ子

愈疏不孝也不可磯亦不孝 ニタトヘテ云クモレ親ノ過スコキナルヲハコトクシク 愈疏不孝也 トカメ怨ムハ急流ニツノ石ヲモ入レカタキカコトトシ

也 少レモソノ親ヲ愛スルノ情ウスキ故ニミナ不孝 孔子曰舜其至孝矣五十

而慕 ナリト然レハ小弁ノ怨タルト凱風ノ怨ハ手孝ナリ 孔子曰舜其至孝矣五十

而慕 ヲ忘レ五ハズヨリテ孝行ノ至極ナリトス蓋シ舜ノ思慕ハ親ヲウラムルニアラス

小弁ノ怨ハソノ親ニ及ヘリサレハ亦ソノ思ヒ慕ハル餘リニ出ヌヨリテ又舜ノ怨慕ヲヒキ

テソノ不孝ニアラザルコトヲ示セリ○趙氏ヲモラク父母ワレヲ膝ニ生ミノ身モト一休

ニラワカレリヲリテ喘息呻吸ソノ氣ツ子ニ親ト相通スコト故ニソノ親ニルヘク疏ニルハ

一ラカナレシテハ怨慕ノ天ニヨバフニ至ル然レハ小弁ノ怨ニハイダ以テ過トスル足

ラサル 宋輕ハ人ノ姓名ナリ楚國ニユカントス 宋輕將之楚孟子遇於石丘 爾時ニ孟子ニ石丘ト云処ニテユキテ

曰先生將何之 宋輕ハ學士ノ年長シタル者 曰吾聞秦楚構兵 ナル故ニ孟子先生ト称ス

我將見楚王說而罷之 事ノ然ルカカラザル子細ヲ以テ楚王 楚王不悅我將見秦王說而罷之 事ノ然ルカカラザル子細ヲ以テ楚王

所遇焉 遇トハ合フ義ナリ秦楚ニ王ノ間ニ必ワ 曰軻也請無問其詳願聞

其指說之將何如 孟子ホ、宋輕カ遊說ノヲモムキヲ察ストイハレマツソノ詞ヲ出

曰我將言其不利也 此ノ事ノ國ニ利アラサ 先生以利

亂ノ中ニライテ兵争ヲヤメ人民ヲヤセンセントスルソノ志ハニコトニ大イナリ 先生以利

然レモウノ説キイル、処ヲ利ヲ以テトナヘトスルハハカラスト 先生以利

先生以利 先生以利

說秦楚之王秦楚之王悅於利以罷三軍之師師軍旅ナリ秦楚

ヲヤムルノ利アルキ、イレハソノ利ヲ以テ三軍ノ衆徒ヲヤメシムル也カクハ

三軍ノ兵士モイクサノヤムル樂ムニツキテハソノ爲人臣者懷利以事其

君爲人子者懷利以事其父爲人弟者懷利以事其兄懷利トハ

念ニカクルソノ人臣子弟タル者三ナリ利ヲイ利欲ヲ

懷利以相接然而不亡者未之有也カクノ如クナレハ一國ノ君臣父子兄弟

秦楚之王悅於仁義而罷三軍之師是三軍之士樂罷而悅於

仁義也爲人臣者懷仁義以事其君爲人子者懷仁義以事其

父爲人弟者懷仁義以事其兄是君臣父子兄弟去利懷仁義

以相接也然而不王者未之有也何必曰利向義ニテ上文ニナズラハ

惠王ノ篇ノ首章トホ相似タリ○此ノ章云ハ兵ヲヤメ民ヲヤススルノ事ハ一ツナレシク

心ニ義ト利トカハリアリテソノ效ニ興ルト立ラルトノ異ナル処アリト學者深ク察ノ明ニ

辨スヘキ孟子居鄒季任爲任處守季任ハ任ノ弟ナリ処守ハ留守ナリ

以幣交幣物ヲ孟子ニラクリ受之而不報不報トハユキテ并謝セサルノ蓋シ

處於平陸儲子爲相以幣交受之而不報平陸ハ

他日由鄒之任見季子他日孟

廬子喜曰連得間矣間トハスキマヲ云子孟子ソノ事ノ同キニコレヲ

問曰夫子之任見季子之齊不見儲子爲其爲

相與云心ハ儲子ハ相タリ季子ガ君ニカハリテ留守タルノ貴曰非也問フ如ク

書曰享多儀儀不及物曰不享惟不役志于享書只周書洛誥ノ

上ニ獻ルヲ云儀ハ礼ナリ物ハ幣ナリ云心ハソレ享獻ニハ礼意アツク多シモレ享ストイハ礼

禮意ノウヤクシキ幣物ニ及ハズノスクナケルハ

孟子

下

享三用ヒサ多ク為其不成享也孟子書ノ心ヲ釋シ云クコレノ享礼ヲソナヘ成サレハハクト

廬子悦ルヲ義ヲキ得タ或問之或人イマタリノ義ヲサトラストリ屋廬子曰季子不得

之鄒季子ハ君ノ多ク留守タルヲ以テ増ヲコエテ他國ニユクテ得ス儲子得之平コノユニ幣使ガカリニテ礼意ステニシテハヨリテ孟子ユキテハリ

陸儲子ハ國相タルノ三ニテ境内ニユクテ得タリサレ礼幣使ノ後ツクニ來ラス儲子得之平至ラサル故ニ孟子モ亦ユカサリレナリ礼義カクノ如クニ相稱ヘリ亦レラ履トシテ

教誨セサルレ淳于髡曰先名實者為入也名實トハ實ハ事功ナリ即コレ功

求ルハ為スト人ヲ救フ後名實者自為也後ニストハユルカセテ求メルナリ自

之仁者固如此乎卿ハ諸侯ノ上大夫ナリ大國ニ三卿アリ子孟子齊ニ卿タル孟子曰居下位

不以賢事不肖者伯夷也コレヨリ下ハ髡カ仁ノ本義ヲ知ラスノ云フヲ辨ズニ子

五就湯五就桀者伊尹也湯ハレメ伊尹ヲ得テ則コレヲ桀ニス

不同道其趣一也二子ノ清任和ソノ由ル処ノ道ハ各異ナ一者何也舊説

曰仁也君子亦仁而已矣何必同仁者ハソノ心ヲ設ルテ私

魯之前也此時魯ノ鄰國ニケツリ上

若是乎賢者之無益於國也賢者國ニ任テソク益ナキコトカクノ如ク凡者カ

曰虞不用百里奚而亡秦穆公用之而霸此ノ二段云心ハ賢者ノ國ニアルコトヲ用ル時ハ

曰昔者王豹處於淇而河西善謳王豹ハ衛人ヨ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

魯之削也此時魯ノ鄰國ニケツリ上

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

曰魯繆公之時公儀子為政公儀子名ハ休為政トハ

淇公衛ノ川ノ名河西八節衛ノ地ヲサシテ云 繇駒處於高唐而齊右善歌

齊ノ俗キナラヒテ亦ヨクウタヘリ 齊ノ西邑ノ名齊右トハ即齊ノ西邊ヲサス句義上ニ同シ 華周杞梁之

妻善哭其夫而變國俗 華周杞梁ハ三齊ノ臣合戰ニウチヅニスソノ妻夫ノタメニ

レ厄華周ガ妻ノ哭ク傳記ニ三ニ蓋シ杞梁ニ帶テ云ナル此ノ有諸内必形諸

外爲其事而無其功者見未嘗觀之也 云心ハ内ニ才徳アル者ハ功業必外

功ナキ者ヲクシタ 是故無賢者也有則見必識之 上ラウケテ云コノ故ニ

ナキナリモレコレアラス必ソノ功業見ユヘキホトニワレ必スコラ知ラント云心ハ孟子ノ齊

ニ在タル間ニ何ノ功業モナレ賢者トスルニタラスト蓋シ見イタカツテ仁ノ本義ヲ知ラ

ズ亦イタカツテ賢者進退ノ深意ヲ知ラス 曰孔子爲魯司寇不用從而

祭燔肉不至不稅冕而行 從而祭トハ魯ノ君ニ從テ郊ノ祭ニアツカル燔

司寇トナリテ相ノコトヲ行ヒ玉フ國中ヲセリテ執ツクオラレトス齊ハソノ國ニ

故ニタクモ上ラレシコトヲ悞レテ女樂ヲツクリ魯ニタクテコレヲトハス季桓子魯ノ君ト

共ニユキテコレヲ見テ政事ヲコタレリ子路夫子ニ官ラステ、國ヲ去リ玉ヘトスム夫

子ソノ祭ニアツカリ玉ヒケルガヲハリテカヘリ玉フトヒトシタツノ冕ヲヌクニ及ハスメ去リ玉

不知者以爲爲肉也 人夫子ノ國ヲ去リ玉フヲ見テソノ心ヲ知ラサル

以爲爲無禮也 心ヲ知ルト云者ハ膳ヲ大夫ニタクラサルコト君ノ無礼ナ

則欲以微罪行不欲爲苟去 夫子ノ魯ヲ去リ玉フ旨趣ハ蓋シ魯ハ父母ノ國

ルヘキ故ナクノ苟クモミタリニ去ルコトヲモ欲セズコノ故ニ女樂ヲウケタルガタメニ去リ玉

ハ入郊ニ膳肉至ラサルヲバワカ祭リニ從ヘル間ニ失礼アリテ君トカメテ故ナレトイヒ

ナレトイヒ微キ罪ヲ得テ去リ玉フナリソノ去ルヘキ幾ラ見ルコトハ明決ナリト

爲衆人固不識也 行フ処ノ心ハナシラノヨク知ル処ニアラストナリ 孟子

曰五霸者三王之罪人也 五霸トハ春秋ノ時諸侯ノカレラトソ會盟ノ主人

楚ノ莊王コレナリ古記ニハ夏ノ昆吾殷ノ大彭豳韋周ノ齊桓晉ノ文公秦ノ穆公宋ノ襄公

功アリトイヘ三王ノ法ニハソムキタル 今ノ諸侯五霸之罪人也 今ノ大夫ハ諸侯

二又ソノ罪人ナリ 今之大夫今之諸侯之罪人也 今ノ大夫ハ諸侯





無專殺大夫

世ニセサレトナリ又官ノ職一人ヲ以テ他事ヲカヌル時ハヲロカナルヲアル

故ニヒコク賢オラ求メテ各ニ車ヲツカサトラスヘシトナリ又凡ソエラ取ルノ必クオラエラ

ハ天子ノ命ヲ請ヒウ五命曰無曲防無遏糴無有封而不告

タメニ水ヲタクハ又大水ヲフセク者ナリ然ルニコレヲ私曲ニ謂フニハ水ヲシメラキ水ニハ外ヘ

人既盟之後言歸于好

今之諸侯皆犯此五禁故曰今之諸侯五霸之罪人也

五霸ノ盟書ノ五命ノ禁戒ヲ

逢君之惡其罪大

今之大夫皆逢君之惡故曰今之大夫今之諸侯之罪人也

夫ハ三ナクノ諸侯ノタメニ大罪ノ人ナリ

慎子爲將軍

孟子曰不教民而用之謂之殃民

有南陽然且不可

慎子勃然不悅曰此則滑釐所不識也

天子地方千里不千里不足以待諸侯

諸侯之地方百里不百里不足以守宗

廟之典籍

典ハ常ナリ籍ハ記録ノ書ナリ諸侯ノ祭祀朝會ノ礼ヲ常アリ季

朝親聘使ノモテテシタモノ

諸侯之地方百里不百里不足以守宗

廟之典籍

孟子

三十五

禮百里ノ地ヨリ出ル処ヲ用 周公之封於魯爲方百里也地非不足而

儉於百里 儉ストハトニリテスクサブル義ナリ周公天下ニ大勲功アリトイハレハシメ魯

百里也地非不足也而儉於百里 太公之封於齊也亦爲方

百里者五 今魯ノ国初封ノ地ヨリモ大イナルヲ五倍スト 子以爲有王者作則

則魯在所損乎在所益乎 今王者ヨリテ上ニイヌトアラハ魯國ノ地ハヒキ

徒取諸彼以與此然且仁者不爲 上ラウケテ云道理カクノ如

彼ヲトリテ以テ此ニマツルモ 況於殺人以求之乎 況ヤ相タカヒ人ヲ殺シテカノ地

君子之事君也務引其君以當道志於仁而已 君子ノ臣トシテ君ニ事ル

今之事君者曰我能爲君辟土地充府庫 戰國ノ士モツハラ國ヲ富シメ兵

今之所謂良臣古之所謂民 今之所謂良臣古之所謂民

賊也 賊トハツコウ義ナリ今ノ諸侯ノ良臣トスル処ノ者即カノヨク國ヲトニスモノナリ

君不鄉道不志於仁而求富之是富桀也 君モトヨリ道ニムカハス仁ニモ

我之所謂民賊也 民命ヲソコナラ以テ云 君不鄉道不志於仁而求爲

之強戰是輔桀也 句義亦上ニ同レ強戰トハツヨクタカフナリ 由今之道無變

今之俗雖與之天下不能一朝居也 道トクノ行フ処ヨリ云俗トハ人コレニナレ

強ヲ求メ臣コレヲ多スクコレ今ノ道ニ今ノ俗ナリ人君コノ道ニヨリレタカヒテコノ俗ヲ変スル

二至五ノ日モソノ位ニ居ルヲアタハトナリ蓋シコレ慎子ヲ戒ルニヨリテキハメ云フナルベシ

スルニ天下ヲタモツハ富強ノ至極ナリサレモコレヲ得ル所以ノモノハ道ニシテ仁ヲ施スニア

二五ノ日モソノ位ニ居ルヲアタハトナリ蓋シコレ慎子ヲ戒ルニヨリテキハメ云フナルベシ

スルニ天下ヲタモツハ富強ノ至極ナリサレモコレヲ得ル所以ノモノハ道ニシテ仁ヲ施スニア

二五ノ日モソノ位ニ居ルヲアタハトナリ蓋シコレ慎子ヲ戒ルニヨリテキハメ云フナルベシ

アリテ富強ヲ求ルバクケイカ 自圭曰吾欲二十而取一何如自圭名ハ丹周人ナリ凡ソ禮ニアラサルナリ

一ヲ取ルハ古今ノ通制ナリ然ルニ自圭孟子ニ謂テ云クワレ二十分ニ一ツトラニク欲スイカアルヘントコレ民ヲアハレム心ヨリ出タルニアラス国用ヲハブキツメテ二十カ一ノ税ヒテ事

足ルヤウニセントナリ即コレ商賈ノ貨殖ノ術ヲ 孟子曰子之道貉道也貉ノ道ニアラストソノ義ハ下ニ見エタリ

ノ夷狄ノ名ナリコレ北狄ノ法ニ中華ノ 萬室之國一人陶則可乎曰不可

器不足用也 萬室ハ家カズ一萬軒ナリ孟子ツタトヲマフ 曰夫貉五穀不生

惟黍生之 地方ハ地氣ヒヤカナヲ五穀ヲ生セス黍ハマダニル故ニ 無城郭宮室

宗廟祭祀之禮無諸侯幣帛饗殮 饗殮トハ飲食以テ賓客ニラクルノ禮 朝

モナク宗廟祭祀ノ礼モナク又諸侯ノ朝會聘問モナキ 無百官有司

故二幣帛ノヲクリ物饗殮ノモテナシモイラズ 故二十取一而足也

カニ足レリワカ貉ノ 今居中國去人倫無君子如之何其可也

君臣ノ分限ナク祭祀交際ノ礼儀モナクハコレ人倫ヲスルナリ百官有 陶以寡且

不可以爲國況無君子乎 此ノ君子ハ人倫ヲカキテ云 欲輕之於堯舜之道者大

貉小貉也 堯舜ノ道ハ即ナニノヲトル天下古今ノ中制ナリコレヨリ輕クセマク 欲

重之於堯舜之道者大桀小桀也 桀ノ中制ヨリ輕クスマシキノミナラスソノ 重クスルモ亦モトヨリ暴虐ノノナリタトヒ

夏ノ大桀ニアラズ亦 自圭曰丹之治水也愈於禹

キ流レヲサキテ水ヲ他国ヘソキヤルソノ功ニホコリテ 孟子曰子過矣

之治水水之道也 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

今吾子以鄰國爲壑 壑トハ 水ノ本性下キニツク道ニ 是故禹以四海爲壑

コカサレズモレ君子トノ亮アラスハ萬事ニナアカ  
魯欲使樂正子爲政 爲政トハ宰相トナルヲ云

孟子曰吾聞之喜而不寐 道ノ行ハルハ 公孫丑曰樂正子強乎曰

否有知慮乎曰否多聞識乎曰否 強ハ弱ヲ勝ルルヲ云又智惠謙慮ト多

樂正子ニナコレ短シヨテ丑譽 然則奚爲喜而不寐 然則奚爲喜而不寐 ナクハ政ヲスルトモセシナカ

ルヘキニシテ線ニシテ 曰其爲人也好善 曰其爲人也好善 樂正子が人トナリ善言 好善足乎

又トフ善ヲ好メハ以 曰好善優於天下而況魯國乎 曰好善優於天下而況魯國乎 優ナリトハ餘リハ義

テ政ヲスルニ足レリヤト 夫苟好善則四海之內皆將輕 夫苟好善則四海之內皆將輕

下ヲ治ムトイヘ凡ナラ餘カアリテ難カラス 夫苟好善則四海之內皆將輕 夫苟好善則四海之內皆將輕

而ルヲ況ンヤ魯一國ヲ治ルニヨリテヤト 里而來告之以善 里而來告之以善 輕シトハタヤスレトナヤマサ九義アリシレ天下ノ人來リテ善ヲ告

毛皆ソノ中ニアリテ 夫苟不好善則人將曰訑訑予既已知之 夫苟不好善則人將曰訑訑予既已知之

矣 訑々然トシキハイニスサホトノハワレ 訑訑之聲音顏色距人於千里之外

士止於千里之外則讒諂面諛之人至矣 士モ亦善告ル人ヲサス讒トハ 士止於千里之外則讒諂面諛之人至矣 人ノ惡イフヲ好ム諂ハコヒ

ツラフナリ面諛モツラフナリ 顔ニハツラヒテ心ニハ欺クヲ云ソレ君子小人互ニ消長ヲ 顔ニハツラヒテ心ニハ欺クヲ云ソレ君子小人互ニ消長ヲ

ナス一理勢ノ必然ナリヨ故ニ直諫多聞ニ善ツクルモノ千里ノ外ニ止リテチカツカサル時

ハ必讒諂面諛ノ惡ヲ 與讒諂面諛之人居國欲治可得乎 與讒諂面諛之人居國欲治可得乎 政ヲスル者ツ子

人ト共ニ居ラハ國ノ治ラシヲ子カフ得ヘケンヤ必得マシキトナリ 此章云ハ 陳子曰

古之君子何如則仕 此ノ章蓋レ陳子ノカミノ仕ヘカタクイタミテ古ノ君子ハ何 古之君子何如則仕 スレノ義ヲ以テカ出仕ヘタルト問フ孟子モ君子ヤムヲ得サ

ルノ仕ヘヲ以テ 孟子曰所就三所去三 孟子曰所就三所去三 君子ノ君ニ就キテ仕ル処ノ道ニツアリテ

下ニ見 迎之致敬以有禮言將行其言也則就之 迎之致敬以有禮言將行其言也則就之 招キ迎フルニ恭敬ノ

エタリ 禮式アリ又ソノ君ノ云処ワカユ 禮貌未衰言弗行也則去之 禮貌ハ礼文ナ

子ノ見行可ノ仕ヘナリ 其次雖未行其言也迎之致敬以有禮則就 其次雖未行其言也迎之致敬以有禮則就

之 コレヲ第一ノ次トシ第三ヲソノ下ト云ハ君ノ君子ヲ待スル淺深ヲ以テ云君子ノ人

品ニカニラスコレ云ハ君子イマタワガ云処ヲ行スレトハ見エサレ凡恭敬ニノ礼

アル時ハニツ 禮貌衰則去之 禮貌衰則去之 此ノ去就ハ孔子ノ 其下朝不食夕不食

コレニ就クト 際可ノ仕ヘナリ 際可ノ仕ヘナリ 其下朝不食夕不食 其下朝不食夕不食

孟子

二十六

飢餓不能出門戸人臣君志アハズノ退キ困窮ノ糧ヲ朝ニモ夕ニモ食君聞

之曰吾大者不能行其道又不能從其言也使飢餓於我土地

吾恥之又ワレヲ諫メツル言モ從フアタハス然ルニ今コレヲガ領地ニ餓死セシムコトワレ

恥ト周之亦可受也免死而已矣君ノ民ニライテ窮スル時ハコレヲスクウノ

此ノ臣モ亦ソノスクヒヲウクヘキナリサレモ飢餓ノ門戸ヲ出ルコトアタハサルニ至ラサレハナラ

ノ仕ヘノ類ナリ蓋システニ去リタル後ニソノスクイヲ受孟子曰舜發於畎畝之

中歴山ニ耕シ三十二ノアケ用ヒラレ玉ヘリ傳説擧於版築之間版築トハ城ヲ

膠鬲擧於魚鹽之中膠鬲ハ殷ノ賢人

管夷吾擧於士士トハ刑獄ヲツカサトル官ナリ百里奚擧於市百里奚秦ニ

孫叔敖擧於海孫叔敖ハ海濱ニ隱レ居ケルヲ百里奚擧於市百里奚秦ニ

故天將降大任於是人也必先苦其心志此ヨリ下ハ上文諸

勞其筋骨心ヲウケ餓其體膚飲食ニウシメテ形骸空之

行拂亂其所爲事ノ行ハル、処ソノ為ニク欲スル

所以動心忍性曾益其所不能曾ハ増ト同シ増益ハ三ナニスナリ

人恒過然後能改人トハ中人ヲ以テ云恒ニトハ大様ト云義ナリ蓋シ上智ノ人ハウツカニ

困於心衡於慮而後作此ヨリ下ニ段ハ上一句ノ心ヲ

徵於色發於聲而後喻事ノキサレテラスコトアタハズコト故ニ必其事ア

入則無法家拂士出則無敵國外患者

國恒亡コレ只人ノ上ノミカクノ如クナルニアラス國家ノ事トイハ民亦然ルコトイハリ入ルト出ルハ

内外ヲイヘリ法家トハ君ノ法則トスル世臣ノ家ナリ拂士トハ拂ハ弼ト同シタスル

孟子

孟子

孟子

孟子

孟子

孟子

孟子

ナリ左右ニ輔弼タル賢臣ヲ云敵國ハ敵對ノ國外患ハカタキ鄰國ニカクレ盜賊要害ニコモレ  
ルルイヲ云カヤウノナキ時ハ君カナラズラツレトモルコトヲ知ラスノ大様國ホロクニ至ルナリ  
然後知生於憂患而死於安樂也 云ハ上文ヲ以テコレヲミテ然ノ後ニ凡ノ人  
ノ生リ全キコトハ憂患ノ内ヨリ出テ死シテ

ハハ安樂ノ内ヨリハジルコトヲ知ルト蓋シ生死ト云ハ身ノ存亡ヲ云フニニアラス凡ソ事ノ成  
就破壊ノルイニナコレナリノ凡ソ人憂患艱難ヲ歴テヨヒヒダクタケカゴラサル者ハソノ心  
イニタ平カナラズソノ氣イニダコナラズノ理ヲ察スルコト精密ナラズ事ヲ処スルコト多ク粗率ナリ  
コノ故ニ身ヲカタメ志ヲキタハニク欲スルモノハ必スコノ内ヨリ過キ來ルヘシコレ實ニ天ヨリ入  
ヒトリタチノ大事ヲ性セラレンカタメノナラハタナリヨリテ志ナキ人ハコノ境界ニラレテ則ヒル  
レホルレ志アル人ハコレニアヒテイヨク目ヲサシテリタチリモシク豪氣ヲ患難ニヒレキクナレ

俗習ニモミロカサレテ後ニ自ツク能ハ **孟子曰教亦多術矣** 君子ノ人ヲ教化スル道ハ  
ニヨリ時ニシタカヒテ様々  
サレ処ニ増益スト思ヘルハヒカコナリ

予不脩之教誨也者是亦教誨之而已矣 ワレノキハメテ  
教ヘカタキ者ニ  
ノ術アリ一端ニ **予不脩之教誨也** カウシキ  
カウシキ 是者亦教誨之而已矣 ワレノキハメテ  
教ヘカタキ者ニ

感動ノ退キテ後ニ自カヘリニ脩ル時ハ則コレモ亦ワレコレヲ教誨スルノ道ナリトゾ

盡心章句上

**孟子曰盡其心者知其性也** 心ハ人身ノ神明ニノ靈知覺ナリモロクノ理ヲ  
ソナヘテヨロツノ事ニ應ズ性ハ即心ノソナヘタル理ナ

リ蓋シ人ソノ性ノ理ヲキハメ知ラサル故ニナラクラクオホルハ外アリテイマダ心ノ分量ヲ  
盡スコトアタハズモレヨクステニソノ心ノ全体大用ヲ盡シタルモノハ即必スソノ性ノ理ヲキハメ  
知ルモノナリ大學ノ次第ヲ以テコレヲイヘバ性ヲ知ルハ **知其性則知天矣** 天  
理

ヨリテ出ル処ナリ人ステニソノ性ノ理ヲキハメ知時ハソノ理ノ根源言語ノ及バソノ  
サレ精微ノ処ニテヲモ則コレヲサトリ得ルナリコノユヘニ天ヲ知ルト云フ **存其**  
**心養其性所以事天也** 心ヲ存ストハ心ヲツ子ニ操リタモチ内ニ存在シ放タサル義ヲ  
リ性ヲ養フトハソノ理ノマニ順ヒ養ヒテタハメソコナハサル

義ナリ事フトハコレニ兼ケ從ヒ背カサル義ナリ蓋シ人ヨク心ヲ操存シソノ性ナル性ノ理ヲ  
理ノマニタテヤレテハ即コレモト天ヨリ我ニウミアタヘラレタル処ノモノヲ尊ビ重シ奉養スルコ  
トナリニヨリテコレヲ天ニ事ル所以トト大學ニヨリテ云時 **夭壽不貳脩身以俟之所**

ハコレ意ヲ誠ニシ心ヲ正ウタテ身ヲ脩ルノコトナリ **以立命也** 夭トハイニチノミチカキヲ云壽トハイニチナガキヲ云命トハ此ノ身ノ生レテ心性ノ  
徳ヲソナヘタルハミチコレ天ノ命ニ賦與セラレタル処ナルヲ云人ソノ死期ノ公ヤ

キヲノキハ天ニウチマカセテ少シモウタカヒラサズヒタスラ存心養性ノ此ノ身ヲ脩ルヲ以テ至  
ノ事トシ死ノ到來ヲツコレ即我ニ賦與スル天命ヲラレタテコレヲ全ウスル所以ナリモレ  
シモ私欲ヲ以テ理ニサカヒ生ラソコナフコトアレバ命ヲ立ルコトアタハズ蓋シ夭壽ウタカサルハ天  
ヲ知ルノ至リナリ身ヲ脩メテ死ヲマツハ天ニ事ヘテ身ヲ終ルノコトナリスヘテコレ命ヲ立ル

○ソレ心ヲ盡シ性ヲ養ヒテ以テ天ヲ知ルハソノ理ヲ知ルナリ心ヲ存シ性ヲ養ヒテ以テ夫ニ事ルハソノ行フナリ知行カ子スニサレバ其功ヲ得カテ天ヲ知リテ歿壽ヲ以テソノ心ヲ盡シセサルハ智ノツクセルナリ天ニ事ヘテヨク身ヲ脩メテ以テ孟子曰莫

死ラニツハ仁ノ至レルナリ智仁カ子キハメサレバソノ徳亦ツイニ成ラス孟子曰莫

非命也順受其正此ノ章ハ蓋シ上章ト一時ノ言ナリソノ末ノ段立命ト云

上句云心ハ所謂命ト云者ハタマ心性ノ命ノミアラズ凡ソノ人ノ遇フ処ノ吉凶禍福ノ類モ亦天命ニヨリテト云フナレト順受トハウケテサカスノカレサル義ナリ蓋シ天道至公ノ

私ナキ故ニソノ人ニ命スル処ノハヨキモアレキモ正キニイデズト云フナレト故ニ君子冬

一味ニ身ヲ脩メテコレヲマキ我ヨリマ子キトルナクニナリノ到來ニ任メコレニシタガフ

ヨリテソノ命ヲ受ルノ道正レカラスト云是故知命者不立乎巖牆之下

トハクツレカリタルツイチナリ凡アヤウクサカレキ処ノ一端ヲアゲテ例トスコレ上丈ヲウケテ云クコノ故ニ命ヲ順受スルノ道ヲ知ルモノハ自ラ危キ場ニヨリテ其ワサワイラ

ミ子キ盡其道而死者正命也ソノ道ヲ盡ストハ即身ヲ脩ルコトナリ人ヨク身

ルモコレ桎梏死者非正命也桎ハ足械梏ハ手械ナリモ罪ヲ犯シトスハ正命ナリ

正命ニアラスト云此ノ二段凶禍ノ命ニツキテ正不正ヲ論ス吉福ノ一モ亦非命アリソノ道ナラスノ得ル処ノ富貴ニ安シ居リ死スヘキ孟子曰求則得之舍

則失之是求有益於得也求在我者也凡求時ハ必スコレヲ得テ求メ

捨ルニ至リテ後ニコレヲ失フハコレソノ求メノコレヲ得ルタメニ益アルノナリ有益トハ

益ニタツト云義ナリ乃コレモト我カ身ニツナハリテアル仁義礼智凡ソノ性分ノアル

処ノ者ヲ求ムガ故ニカクノ如シ蓋シ操存涵養ハコレヲ求之有道得之有

命是求無益於得也求在外者也コレヲ求ルニ道アリテ求リニ求メカク

得ラレサルハコレソノ求メノコレヲ得ルタメニ益ナキコトナリ乃チコレ我

カ身ノ外ニナル富貴利達凡ソノ外物ノ欲ヲ求ルカ故ニカクノ如シ孟子曰萬物皆

備於我矣ソレ人ノ生ニテ大極ノ全備ヲウケテソノ性トスル故ニ君臣父子ノ大イナル

ニツナハラスト反身而誠樂莫大焉人モレワカ身ニ反リ求メテソノ備ル処ノ

カ如ク悪ヲ見ルハ惡臭ヲニクムカ如クナル時ハソノ行フ処ニツイツトメズメ

強恕而行

イニタ誠ナラサルハコレナラ私意ニヘタテラレソノ理イニダ純一ナラスノ不仁ナリ人

ヨクカヲツトメ怒メ以テ行フ時ハヤウヤクニ心公ニナリ理モ純ニナリテ仁ニ至ル

云コノ故ニ誠ヲ論スルニヨリテ則仁ニ及フ又ワガ心ニ思フ処ヲツカフ人ニ及フヲ仁ト云フ  
人ノタメニ思フコトワカタメニスルガ如クナラサルモノワガ心ヲ則シコレヲハカリカヲツケテ人ニ  
推シ及ホスハ怒ナリコノ怒ニヨリテコレヲ熟スルトキハ別ニ修為スルコトヲマタス  
即チコレ仁ナリコノ故ニ仁ヲ求ルコトメテ怒スルヨリモ近カニチナシ

子曰行之而不著焉ソレ道ハ人ツ子ニ由ル処ニテ日用人倫ノ外ニイデズ然ルニ学  
者ソノ事ヲ行ヘルナライマタソノ理ノ當然ナル処ニ明ナ

ルコトアタハサマシ習矣而不察焉ソレ道ハ人ツ子ニ由ル処ニテ日用人倫ノ外ニイデズ然ルニ学  
者ソノ事ヲ行ヘルナライマタソノ理ノ當然ナル処ニ明ナ

之而不知其道者衆也由ルトハ行フト習フトヲカチテ云不知トハ不著不察  
ヲカチテ云此ノ段上文ヲスヘテ云一生カクノ如クニ

終ルモノ多シトコレ学者深ク道ニ造ルコトヲ求メサルモノヲバイミシテチリノ朱子此  
章ヲトクニヨリテヲモヘラク今ノ人ハ又カクノ如クナラズイミタカテ行ヒスノスナハチ

著ナラコトヲ説カニク欲スイミカツテ習ヒスノスナハチ察ナルコトヲ説カニク欲ス古  
人ハ與ニ同シク学ブヘケレモイミタカニ道ニユキカタシトコソハイヘ合ノ人ハイマダカツテ学

ヒスノスナハチ道ニユカンコトヲ求ムト孟子曰人不可以無恥恥ハ義ノ發  
コレ又抑シナクカレル人ナリ

羞チ人ノ悪ヲ思ム心ナリ人ニチ此ノ心アリトイヘ私欲ニタテラレテ多クハ緊切ナラ  
ズモレバカ非ヲ知ル時ニ泚然トシテ飲飽噉ニ下ルコトアタハズ人ノ悪我ニセニル

忌ムコト糞穢ノ身ヲケガレ荆棘ノ衣ニカラントスルカ如クナルハコレワガ羞惡ノ無  
良心ナリ人ツ子ニ此ノ心ナクテアルニシキコトナレバコレヲ存メ失ハサレトナリ

恥之恥無恥矣人モレバカ羞惡ノ心ナキコトヲ信實ニ恥ル時ハ則チ此ノ機ニ乘  
メテアリタチヨク過テアラズ善ニウツルニヨリテツイニ恥辱ノ累ヲ

孟子曰恥之於人大矣恥ハ即羞惡ノ心ニシテワガモトヨリアル処ナリ人ツ  
子ニ此ノ心ヲ存スル時ハセサル処アル故ニコノヨリ

テ聖賢ニモスムヘレモレタビ此ノ心ヲ失フ時ハセスト云フコトナキ故ニコレヨリメ禽獸  
ニモチチイルナリ然レハ此ノ心ノ存否人ノ身ノ上ニライテチチカシル処甚々ナリ

變之巧者無所用恥焉機トハ事ヲカクリ人ヲツク心ノミハタラカヒズワカ  
思フ処ニヲトシテイルナリ変トハ言フサニクニ變化シ

人ヲタフヲカレテ惡道ニヒキイルナリカヤウノコト巧ニスル者ハ君子ノ深クハチニクム  
処ナルヲバ彼ハ則チツカラ其計ヲナレ得タリトヨロコビテイヨクコレヲ好ム後ニハ感激ス

ルコトモ心ニサトラス規戒スルコトモ耳ニイラス頑然トメ禽獸ニチカレ彼モト羞惡ノ心ナキ  
ニアラサレモコレヲステ用ル処ナキ故ニホロヒハテカクノ如クナリ此ノ外タレモ恥ツヘキ

婦好等ノ人不恥不若人何若人有云心ハ人ノ心術人ニシカサルコト品多シトイヘ  
云フニ及ハズ

公ノ外ノ事何カ人ニシテコトアラン事々ニチ人ニシカストナリ一説ニ人ニシカサルコトヲ恥スハ何  
人ニシテコトアランコトヨムサレモ此ノ説ニヨル時ハ人ニ勝ツコトヲ好ム心ヲ以テ恥ヲ知ルトスル誤

ニヨリテ前説ニ從フヲ以テ可ナリトス此ノ二段ニチ恥ルコト孟子曰古之賢王好善  
ナキツイエヲアケテソノカル処ノ大ニ義ヲ示セリ

而忘勢賢王人ノ善ヲヨニスル故ニワカ尊  
大ノ勢ヒラ忘レテコレヲ敬フ古之賢士何獨不然樂其道

而忘人之勢古ノ君王カクノ如クナルノミナラズ士タルモノソノ身イヤレトイヘ何  
ソノ然ラサラン賢者ハ亦ヨクソノアル処ノ道ヲ樂ニテ人ノ權

二屈故王公不致敬盡禮則不得亟見之王公ハ天子諸侯ナリ賢士ソノ  
操ヲ守ルコトカクノ如クナル故ニ

孟子曰古之賢王好善



王公トイハ内ソノ恭敬ヲキハメ外ソノ礼節ヲツクサシ見且猶不得亟而況

得而臣之乎臣之トハ名ア見フノ類ヲサス王公敬礼ヲツクシテアコトスラ且ツナラシハクスルコトヲ得サルニ況ンヤ臣ノ如クニ侍ノコトヲ得シヤト

ソレ君ハ已レヲカメテ以テ賢者ニ下リ士ハ道ヲ枉テ以テ利祿ヲ求メズ中相ツムクニ似テ實ハ則チカクノ如クニ後ニ君臣ノ道相成ス蓋シ亦各ソノ道ヲツクスルニ

ナルガ故ナリ然レ此章ノ主意ハ古ノ賢士ヲ孟子謂宋句踐曰宋ハ性句踐ハ名諸侯遊説

ノ歴メク子好遊乎吾語子遊遊ハ遊説ナリ遊説ヲコノマワレ人知之

亦貴器人不知亦貴器器人知之不知トハソノ説ノ行ハト行ハレサルヲ以テ云フ

斯可以置器矣何事ヲカ修メ器々曰尊德樂義則可以置器矣徳

已ニ得ル処ノ善ヲ云コレヲ尊フ時ハ自重ニスル処アリテ爵祿ノ榮ヲ慕ハズ義

重シ自安ニスルハ即自得ナリ慕ハズ狗ハサルハ故士窮不失義達不離道

士ハ遊説ノ士ヲウケトクトイヘ厄迄ク云詞ナリ窮ハ困窮達ハ利達ナリ人知シテ貧

行フヘキ道ヲ離レスコレ徳ヲ尊ビ義ヲ樂ム者ノ行迹ニアル事實ナリ窮不失義故士得已焉得コトハ已ヲ

始終ワカ身ヲ全達不離道故民不失望焉民不失望トハ人民アラカシメ此

古之人得志澤加於民不得志脩身見於世

此レ又古人ヲ引テヨク已レヲ得民ノ望ミヲ失ハサル事實ヲオク古人志ヲ得テ道行

ハル時ハ必恩澤民ニカウフヲシムルコトアリ志ヲ得スノオクレ処ル時モヨクソノ身ヲ脩

ムルニヨリテ名實世ニア窮則獨善其身達則兼善天下窮スル時ニ必又独

孟子曰待文王而後

興者凡民也興トハ志氣感動シフルヒラコリテ善ラスルコト云文王ノ俟ヲ待テ而後ニ

若夫豪傑之士雖無文王猶興豪傑トハ才智人ニコハタル者ヲ云

ナリトイヘ凡凡人ハ必ス上ノ風教ヲ得テ後ニラコル上智ノ人ハコレヲ得ズノ自

ヨク感發ノ以テ為ルコトアルナリ○此ノ章ノ意人ヲスメテ自立セシメンカタメナリ

孟子曰附之以韓魏之家如其自視欲然則過人遠矣韓魏氏八晋ノ卿ニ

ノソク家最モ富貴ナリ欲然トハ自滿ナル心ナリ人ノ身ノ上ニ忽然トノ韓魏ノ家ノ富貴ヲ以テシ加ルトイヘ自コレヲミルニ欲然トムソノ意氣ニナリガル処ナク只平常ノ如クナル者ハコレソノ愚識人ニコレタルハルカニトラレトク此章モ人内重ケレバ外軽ク出処進退ニハツラヒナキコトヲ云 孟子曰以佚道使

民雖勞不怨佚ハヤスキ義ナリ人君ノ民ニラケルソノ本意民ヲ安佚ナラシムルノ道ヲ以テコレヲ使ハ民ソノ役ニ苦勞ストイヘ自怨ムル心ナレバ凡ソ農耕ヲアラカ

シタヨリ催促シ又堀ヲホリ城ヲ以生道殺民雖死不怨殺者 人生ケテカク

欲スルハ上タル人ノ本意ナレモ逆ラスル者アリテ民生ヲサマタク患アル時ハコレヲ刑メソノ害ヲハラフコレ生道ヲ以テ民ヲ殺スナリカクノ如クナレハ民ソノ罪ニ伏ソノ殺

ス人ヲ怨ミス程子オモエラク凡ソ民ヲ使ヒ民ヲ刑スル人君ヤムコトヲ得スソノサニスギキハスル時ハ且ツ民ノ心ニモトルコトアリトイヘトモ亦ツヒニコレヲ怨ミスモ

然ラサル時ハコレニ反ソ孟子曰霸者之民驩虞如也 此ノ章王者ノ民ノ氣象ヲ稱美セントモ

ノ民ヲ以テクラベヲコレリ驩虞ハ歡娛ト同シヨロコビタラシキ義ナリ如ノ字ハ上ノ字ニツケテ物ヲカタル詞ナリ霸者ハソノ政ニ民ヲ歡娛セシムルタメニ作為スル処アリテカクノ

如シ然レレ作爲ノ變王者之民皞皞如也 皞々トハ廣ク大イニ各々ヲノツカラ得ル久レキニタヘカタシ

化ノ如ク民ヲヨコバシムルワサモナク亦イカラシム殺之而不怨利之而不庸 殺スルコトヲ

民日遷善而不知爲之者コレ則皞々ノ氣象ナリ庸ハ功ナリ民ノ惡ム処

何ノ怨ムコトアラン民ノ利トスル処ノアバコレニヨリテ利ヲオコスコレヲ利スルニ心ナレ何

ノ功アリトスルコトアランソノ性ノ自然ノニ教ヘテヲツカラコレヲ得セシムコト故ニ日々

ニ善ニウツレレ誰カスル処ナルコトヲ知ラス帝堯ノ時老人嚳ウチヲ遊フモノ歌

ニ五日出テ作キ日入りテ息フ井ヲホリテ飲ニ田ヲ耕シテ食フ帝ノ力我ニライテ何

カ有ルヤトウタヒケルコレヲ以テ思ヒシルヘシ又或人ノ云ク王者ノ民ハ雨露ノ草木

ナリ霸者ノ民ハ楛楛ノ夏畦ナリト日ニヤケタルハタケニハ子ツルニテ水カクル

コトヲ夫君子所過者化所存者神 此ノ君子ハ聖人ヲ以テ云過ルハ歴ヲ

徳化セスト云コトナクソノ心ニ存主ノ化ヲナス処ノモノ神妙ニ測リカタキソ神ハ

君子ヨリ云化ハ人ヨリ云ニツノ者前後ナレ舜ノ歴山ニ耕シ玉フ時ニ田ツルモノ

相ユツリテサセムラフワハズ河濱ニ墾モノツクリシモ時ニスノ器ツクルコトカケユガナルハ

ソノ過ル処ノ者化スルナリ而シテ存スル処ノ神モ亦シラレタリ孔子ノ立ツル時ハ今ハ

チ立テ道ヲ時ハスナチシタカヒ綏スル時ハスナチ來リ動ス時ハスナチ和クハ

ソノ化ノスミヤカナルヲ以テソノ存ノ神ナルコトヲ見ルコレ聖人ノ神化ヲ以テ王道ヲ

論ス上下與天地同流王道ノ徳業サカテルコト上天ニアロ下地 豈曰小

補之哉王道ハ一世ヲアゲテ新ニ変化ス霸術ノ小々ノスキニ補ヒフサクガ如シト

キニライカケソフサクガ如シ王化ハコレヲ孟子曰仁言不如仁聲之

イナラスガ如シト朱説ニモコノ意アリ

孟子曰仁言不如仁聲之

孟子曰仁言不如仁聲之

入人深也

仁言トハ人君仁厚ノ詞ヲ以テ民ニイヒキカスルヲ云仁聲トハ聲ハ名ナリ君ニ仁徳ノ實アリテ民コレヲ稱美スルヲ云仁言モ民ヲ感

スル処アリトイ仁聲ノ民ノ心ニ感シ入ル

善政不如善教之得民也 法度

禁令ヲ云教トハ道ヒクニ徳ヲ以テテコレヲトノフルニ礼ヲ以テスルナリ云心ハ政ノ善キニ得ル処ノ功ハ教ノ善キガ民ヲ得ルコトナルニカストモクニ義ハ下ニ見エタリ

蓋シ政ノヨクシテ教ノイニダヨカラサルコトナリ 善政民畏之善教民愛之 此ヨリ

ハ善政ノ善教ニカサル義ヲ詳ニトク民畏之トハ法度立チテ民コレヲカコシメテ上ヲサレテ云民愛之トハ教化行ハテ民コレヲヨロコビシタフコトナル云是ニテ君ニ善アリ

ハ民コレニ應スルノ效 善政得民財善教得民心 善政民ノ衣食足ルコトノ

善教ハ民ノ忠孝ノ心ヲ得テソノ親ヲステスソノ君ヲ後ニセコレスナチ善政善教ノ得ル処アル功ニソノ功ノ浅深モ亦テ見エシ此ノ章合セテ云時ハ仁言ハ政教ノ

中ニ在テ行ハル仁声ノ實 孟子曰人之所不學而能者其良能也所不

慮而知者其良知也 良トハ本來自然ニヨキ義ナリ人ノ學習ヲ歴スル能

者ハ良知ナリ程子ヲモヘラク良知良能 孩提之童無不知愛其親也及

其長也無不知敬其兄也 コレ良知良能ノ事實トシテ孩トハ小兒ノ笑

間孩提スルコトヲ知リテ手ヲヒキイダクモキホドナルヲ孩提ノ童ト云ソノ親ヲ愛ストハ

父母ヲ慕イテモツレヨルコト云又ソノ稍長スルニ及ニテハソノ兄長ヲウヤヒテ物コトニ

敬テ先タヌコトヲ知ル此ノ二ツノ知ルト云 親親仁也敬長義也 親々ハ即親ヲ

ソノスヘヨ知ル義ニテ上文ノ知能ヲカキタリ 親親仁也敬長義也 愛スルノ道ヲ

リ仁義ハ徳ヲ以テ云親々即 無他達之天下也 云心ハ親ヲ親ニ長ヲ敬スル

ノ義ナレ此ノ心天下ニ通達ノ同レナルヲ以テソト蓋シ上文ニツク無不知云詞ニ

ツキテソノ親々敬長ノ心ニテ本然ノ良知良能入テ 歸ヨリ有ル処ニテ天下同ク然ル

心ノ見ユルニヨリテコトニ道ニコレヲ指シテ仁義トスルナリ此ノ章ノ心蓋シ世ノ人仁義

ノ徳ヲ外ニ求メ私智ヲ以テコレヲ鑿ツ孟子ヲ論ヲ發スルコトニ及リ求メテ

ソノ良知良能アルコトヲサトリコレヲ 孟子曰舜之居深山之中與木

石居與鹿豕遊其所以異於深山之野人者幾希 舜深山ノ中ニ居

玉ヲ時ノノナリソノ時ハ只一農夫ナルニヨリテ木石ノ間ニス鹿豕

ト相ナシテ深山ノ野人ト大ニ異ナルコトナキヤウニ見ユルナリ 及其聞一善言

見一善行若決江河而然莫之能禦也 江河ハ三十大川ナリ沛然ハ水

リテ虚ク至リテ明ニ渾然タル一理ノ内ニ萬理コトククナリ善言善行ワツカニ

見ル処アルハ感應ハチタ速ニソノ理ニ通ジノ事ニ從ハスト云処ナレバ勢江河ノ決

ヲ決リナカレテ沛然トシテセギトムルコト能ハルカ如シ孔子耳順ノ時声入テ心通ス

ト同レコレ又舜ノ大ニ人ニ異ナル処ナリ江河ヲ決ルノたとヘ孟子道三造ルコト深キナラ

孟子曰無為其所不為無欲其所不欲如此而已

為ルトハ身ニツノ事ヲ行フナリ欲フトハ心ニツノ事ヲ求メ望ムナリ非義ナリ

私意尙存本然ノ心ニ反ル時ハ則テ差惡ノ心ヲ攝シテ義ヲ失フ事

者恒有乎疾疾ニテ鈍セタマ心術ヲ云疾疾ハヤミヒナリ災患ヲ以テ云凡ソノ人ノ慧

德智術アルツ子ニツノ災患ニテイタル内ニ煉磨メコレヲ得ルナリコレ獨孤臣孽子

其操心也危其慮患也深故達

ノ旁ニ出タルヲ云コレ庶子ノ事ナリ諸人ノ中ニタレバ此ノ兩様ノ人ハ君ト親トニツノ志ヲ得ス

一深レ守リ危キ故ニ專ニシテホレイミナラズ慮リ深キ故ニ辯ク審クメテ以テモアテト

ニラク一端ニアラス中ニモ孤臣孽子ノ身ノ孟子曰有事君人者事是君則

為容悅者也臣ヲクラヘラコレリ容トハツノ君ニ阿リ媚ルモ容ニテ居ル

云悦トハ君ノ私欲ヲムカヘ道ヒキテコレヲ悦ハシムルコト云コレ只利祿ヲムカホルカダマ

ヲ以テ只コレヲ君ニ有安社稷臣者以安社稷為悅者也

安シスルノ事ニツトコレヲ君ニ事スル事ハ忠トシテ念々忘レサル小人利祿ヲ計リテ悦ハシムルカ如クナル者

天下而後行之者也天民トハ民ハ位ナキモノ通称ナリ此ノ人天理ヲツクシ

テナリソノ志ヲカイダク処ノ道必天下ニ行ハルヘキヲ見テ而後ニ出テコレヲ行フ

人ニ術ハサルモノナリ伊尹太公ノ流カクノ如クナリ有大人者正己而物正者也

ソレ大人ハソノ徳キハメテ盛ナル故ニモレニタビ世ニ出テ已テ正ラフ位ニラレハ上下ヲツ

カテ化レニ正シクナル者ナリ君民ステニ正キ時ハ国家安カラスト云テナク政

教行ハスト云テナレ此ノ章人臣ノ品同シカフナリ略コノ四等アルコト云

士ナリ然レ臣ナラ必道ヲ行フニ心アリ聖人ハ則意ナク必ナク只ツノ在

子有三樂而王天下不與存焉

蓋レ君子ハ富貴ヲ奉養ヲ以テ樂ミトセサレ故

父母俱存兄弟無故一樂也

三天下ニ王タルトモ反テ樂ミトセサルナリ

三樂ノ條目下ニ見ヘタリ不與存トハ此

三樂ニアツカリテツノ數ノ内ニ在ルナリ

三天下ニ王タルトモ反テ樂ミトセサルナリ

父母俱存兄弟無故一樂也

イキテ在ルナリ無故人或ハ病死災難或遠クヘタリ或ハツノ中睦シカラヌヤウナキコト云ナリ此ノニツハ人ニ深ク頼フ処ナシ正必シモ得ヘカラス今ヌテニコラ得ル時ハツノ衆仰キテ天俯不作於人二樂也

自内ニ省ミテ仰キテモ天ニ愧ル処ナク多俯シテモ人ニ作ル処ナク心廣ク体胖ナリ豈深ク衆ムヘカラサランヤ

得天下英才而教之三樂也

ト云フナレ君子ノ願望コトヨリ大イナルハナシ今ヌテニコラ得ル時ハツノ衆仰キテ天俯不作於人二樂也

存焉

カサ子テニツノ衆ヲ稱美ノ人ニ味ハヒ知ラレムナリ○林氏ヲモヘラク此ノニツノ衆第一ニカリ第三ニカリノカラ以テ教スヘキ者ハ只第二ノ愧ス作サ

孟子曰廣土衆民君子欲之所樂不存焉

民君子樂之所性不存焉

民ヲアテ子ク安定ニスル時ハツノ道天下ニ行ハレテ一夫モツノ沢ヲカウラス上云フナレ

不損焉分定故也

義禮智根於心

其生色也

辟紂居北海之濱聞文王作興曰盍歸乎來吾聞西伯善養老者

善養老者

者太公辟紂居東海之濱聞文王作興曰盍歸乎來吾聞西伯

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

善養老者

民多ク飢寒ニ及ヌ 天下有善養老則仁人以為己歸矣 凡天下ニ王

ルヲ養フ人アルハ二老ノ如キ仁人ニナリテ 五畝之宅樹牆下以桑匹婦蠶之

則老者足以衣帛矣 此レヨリ以下ハ文王養老ノ政 五母雞二母兔無失

其時老者足以無失肉矣 母雞ハ二ハトリノ雌ヲ云母兔ハ豕ノ牝ヲ云一家コトニ母

老者肉ヲ食フニ足リ 百畝之田匹夫耕之八口之家可以無飢矣 百

失肉ト肉ヲ得サル 所謂西伯善養老者制其田

八二家ノ受ル処ナリソノ入ル処八人ノロラヤレチフ 所謂西伯善養老者制其田

里教之樹畜導其妻子使養其老 コレ上文ヲウケテ前ノ一段ノ義ヲ叙マシテ

五畝ノ宅ヲサス樹ハケルナリ農勸ヲ以テ云畜ハヤレチナリ雞兔ヲ以テ云云心ハ西

伯ヨク老ヲ養フトハ只カクノ如クソノ田宅ヲサツケケクノ妻子ヲ教導 導ヲノクソノ老者ヲ養

ハレムルノミナリ家々ニタマモノ 五十非帛不煖七十非肉不飽不煖不飽

謂之凍餒文王之民無凍餒之老者此之謂也 凍ハコニルナリ餒ハウフル

ノ老ナレト云古語アルヨリテ上文ヲウケテコレヲ叙シソノヨク養

ノ心ヲ推シ明カセリ此ノ字ハ制其田理ト云三句ヲサレテ云ナリ 孟子曰易其田

薄其稅歛民可使富也 此ノ章政ヲスルニ六民ヲ富シムルヲ以テ先トスルヲ云田

易トハツタルトナリコレ農ノ時ヲサマタズ民ヲ思フマニ耕作セシムルヲ云稅歛年

貢ナリコレヲ薄クストハソノカミノ厚キニ對シテ云只コレ作一ノ制ヨリミレテトラザルナリカク

ノ如クニスル時ハ民ヲ 食之以時用以禮財不可勝用也 食之以時トハ

ノ類必ストルヘキ時節ヲマテ後ニトリ食フヲ云用之以禮トハスニテ生ニ用ル処ノ

物ヲハ法度ニユルサレタルヲニ用ヒテニタリニ用ヒサルヲ云カクノ如クニ民ニ節儉ノ

道ヲ教ルトキハ財 民非水火不生活昏暮叩人之門戶求水火無弗與

用多クノ常事カク 者至足矣 此ヨリ下ハ民ノ財用ヲ富足セシムルヲ仁化ノ本タルヲ論ス生活トハイキ

者至足矣 テ居ルヲナリ昏暮ハ日クレナリソレ水火ノニツハ民生日用ノ急ナル処ノモノ

ナレハ尤モヲシムキフナレタトヒ日クレテ後二人ノ門戶ヲ多キテ水火 聖人治天下

ヲ求ルニモアタヘズト云モノナレコレソノ至リテ多ク足ルヲ以テナリ 使有菽粟如水火

使有菽粟如水火 菽豆粟六米ナリコレヲ多キフ水火ノ如クナラシムルヲ

水火而民焉有不仁者乎 仁ハコレ人人ノ本心ナリトイヘ生養タラサル時ハコレヲ

皆仁愛ノ道ヲ知ルナリ尹氏ノ云ク礼義ハ富足ニ生 孟子曰孔子登東山而

民常ノ産ナキ時ハ常ノ心ナレト礼義常心ハ即コレナリ 孔子登東山而

小魯登大山而小天下 登ノ字ヲ説ク者多ク孔子ノ登ルトナレテ云恐クハ然

小魯登大山而小天下 聖人ノ道大ナルヲ云愚按スルニ此ノ段ニツノ

ラレヨ聖道ヲ學ブモノヨリ云ナルヘシ此ノ二句詩ノ興ノ如シ東山トハ魚目ノ城東ノ高山ナリ大山ハ即泰山東山ヨリモ又高シ蓋シ聖人ノ道高大キハミリナキ故ニコレヲ學フ者ソノス、ミノホリテ居ル處ノ地位ニスルノ高キ故觀於海者難爲水遊於聖時ハソノ下ヲミルノモスルノ小キナルヲイヘリ

人之門者難爲言 極ナル故ニ海ヲ見タル者ニ對シテ水ノ大ナル說ヲナシカクカタクソコレナラニハ衆ヲナスヘカラスト云意ノ如シ 觀水有術必觀其

瀾日月有明容光必照焉 此道ノ本アルヲ云詩ノ比ノ如シ瀾ハ水流ノ急ナル處ナリ明ハアカリヲ云光リノ術ナリ光ハ明ノ用ナリ

容光トハ光ヲ容ル、スキマナリ云ハ水ヲミルニハツノテダテアリ必スツノ瀾ニイテコレヲ見ル時ハツノ源アリテコレカ本タル故ニツノ流レカクノ如クニキハマリナシト云フヲ知ル日月ヲ見ルニモスコシキ容光ノスキマアレバ必ス光リサシ入りテツノ内ヲ照スヲ見テ則

爲物也不盈科不行 此ヨリ下ハ學ヲスルノ道必漸クニ進シテ乃チヨク至ルヘキコト云流水ト盈科トハ亦コレ興ナリ流水モレ充アレハ必コレニ入り

君子之志於道也不成章不達 成章トハ内ニ積ムル處ノ徳

孟子曰雞鳴而起孳孳爲善者舜之徒也 孳々トハツトメツトムル心ナリトリナク時ニヲキイテヨリ孳々トハ善ヲツトメナレテ終日ニヤミサルモノハイダ聖人ニ至ラストイヘ亦コレ聖人ノ徒ナリ

起孳孳爲利者蹠之徒也 利ハ利欲ナリ蹠ハ盜蹠ナリ句義ハ上ニ同シ

分無他利與善之間也 善ハ公利ハ私利ナリ問トハ相去ルノ遠カラカニ云舜トハ他ノ事ナシ利ト善トノ間無クテ毫末ニアルノミナリツカニ善ヲ出レハ即利ニ入ルモ善ナラヌ利ナラザル間地アルコトナクニ居レバ君子高明正夫ノ徒カナタニ居ルハ小人卑汚穢僻ノ流入スヘカラス自敬言者ソノ幾ヲ察シテ君子ノ幾ヲハナシスヘカラスモ小人ノ域ニ甘ズベカラスノ揚氏ノ云ク舜蹠ノ相去ルノ遠シ而ソノ分ハ利ト善トノ

間ニアルノミコレ豈ツシニサルヘケンヤ然レトコト講スルヲ熟セスコトヲ見ルヲ明カナラスハイマダ利ヲ以テ義トセサルモノアラシ又學者ニ深ク察スヘキ處ナリ或人トシテ難ナ

キテ起キモレイマダ物ニ接ラスハイカンメカ善ヲセシ程子ノ云ク只敬ヲ主トス便チ善ヲスルナリ陳氏ノ云クイマダ物ニ接ラサル時敬以テ内ヲ直クノ以テソノ本ヲ立テ物

ニ接ル時ニ及シテ義以テ外ヲ放シメ以テソノ用ヲ達ス 孟子曰揚子取爲我

拔一毛而利天下不爲也 揚子ハ揚朱ナリソノ道ツツカニハ我カ爲ニスルハカ

云名目揚子自コレヲ立レニアラズ只コレ孟子揚子ガ心ヲ立ル處ヲ以テコレニマツクナリ

下文ノ墨子無愛子莫執中モミナコレニ同シ下ノ句ハ孟子又爲我ノ義ヲノベトフ蓋シ

孟子曰

君子之志於道也不成章不達

孟子曰雞鳴而起孳孳爲善者舜之徒也

起孳孳爲利者蹠之徒也

分無他利與善之間也

孟子曰揚子取爲我

拔一毛而利天下不爲也

揚子ハ揚朱ナリソノ道ツツカニハ我カ爲ニスルハカ

云名目揚子自コレヲ立レニアラズ只コレ孟子揚子ガ心ヲ立ル處ヲ以テコレニマツクナリ

下文ノ墨子無愛子莫執中モミナコレニ同シ下ノ句ハ孟子又爲我ノ義ヲノベトフ蓋シ

孟子曰

君子之志於道也不成章不達

ワカ身一毛ヲヌクハ甚、輕キナリ然ルニコレヲ以テ天下ノ人ノ為ニ利アレトモ亦コレヲセサルナリ 墨子兼愛摩頂放踵利天

下爲之 項放踵トハ頂ヨリ踵ニテ一事物ニアタリテツキスラル、ソカクノ如クニ勤勞シテ

天下ヲ利スルコトヲモイトフコトナクテコレラスルナリ 子莫執中執中爲近之執中

無權猶執一也 子莫ハ魯ノ賢人ナリ揚子カ爲我墨子カ兼愛三ナカクチニ並ヒ

スレバ道ニ近シトスヘシ然レ中ヲ執テ權ナケハ亦ナラ揚墨カ一偏ヲ執着スルカ知キ

權ハモト稱ノヲモリノ名物ノ輕重ヲハカリテソノ當ル処ヲ知ル者ナリカクノ如クニ理ノ當

不ロヲハカリテソノ至當ノ処ヲ用ルハ時中ナリ只彼此ノ中分ラトリテ理ヲハカルコトナキハ

コレ一途ノ中ナリ蓋シ子莫中ノ名ヲ慕ヒテトリアヤメルハ當時揚墨ガ道ヨリニカレリ

トスコノ故ニ孟子權ノ字ヲ以テコレヲ破リテ所惡執一者爲其賊道也擧一

而廢百也 云心ハワレソノ一ヲ執ルコトヲ惡シテコレヲ辨スルコトヲ中正ノ道ヲソコナ

似テ義ヲ害ス子莫カ權ナキノ中ハ中ニ似テ時中ヲ害スコレニナ平カニ道理ヲハカラス

ノ只各々ノ見ル処ノ一道ヲ是ト認テコレヲ行フヨリテソノ一道モ亦是ニアラスコノ故ニ又

云クコレ一ツヲアゲ用ヒントノ百ガ百ナガララ皆スルナリト此即ソノ道ヲソコナフ所以ナリ

一説ニ此ノ段ノ執一ト云モ直ニ上文ノ執一ヲウケテ只揚墨ヲサスコレ孟子揚墨ヲヒラク

主意ニ子莫ヲヒラク心モ亦ソノ中ニアリト○此ノ章道ノ貴キ処ノ者ハ中ヲ中ノ貴キ

処ノ者ハ權ナルコトヲ云ナリ揚氏ノ云ク禹稷三タヒソノ門ヲ過レハ入ラスモレソノ可ニ當ラ

サル時ハ則墨子ト異ナルナレ顔子陋巷ニアリテソノ樂ヲ改メスモレソノ可ニ當ラ

サル時ハ則揚子ト異ナルコトナレ子莫爲我兼愛ノ中ヲ執テ權ナレ郷鄰ニタカラコトアレ

レ而モ戸ヲ閉ルコトヲ知ラス同室ニタカラコトアレレ而モコレヲ救フコトヲ知ラス是モ亦ナ

ラ一ヲ執ルガ如クナルニミコノ故ニ孟子子莫ヲラク道ヲ賊フト禹稷顔回地ヲ易ル時ハ

則三ナ然ルコトヲ推アルヲ以テナリ然ラサル時ハ則コレモ亦揚墨ナラクノミナ子

云クモレ學イマダ至ラス理イマダ明ナラスニ徒ニカノ処謂中ト云モノヲ求メテコレヲ執マ

ク欲セバ則所謂中ト云者何ノ形狀アリテ執ルベケン殆トイヨク失フコトヲ見ン子莫コレ

ナリ既ニ中ヲシラスノ及カノ時中ト云者ヲ慕ヒテ時ニ隨テ以テ中トセシク欲セハ吾恐

ラクハソノコレヲ失スルコトイヨク遠クノミタ必シモ 孟子曰 飢者甘食渴者甘飲

是未得飲食之正也 飢渴害之也 飢渴ニ及フ者ハ飲食ノ美惡ヲワカス

知り得テコレヲ甘ニスルニアラス只コレ飢渴ノ害スルカ故ニコレヲ 豈惟口

腹有飢渴之害人心亦皆有害 コレ上文ノ飢渴ヲ貧賤ノコトニ假リ用ヒテ

云ナリ云心ハ豈タバ口腹飲食ノ飢渴害

セズルコトアルノミナラン人心モ亦往々貧賤ノ飢渴ニ害セラレハコトアリコト故ニ言

貴ニライテ辞受ノ正理ヲアラフニイトニアラズノミタリニコレヲ受ルコトアルナリ 人能

無以飢渴之害爲心害則不及人不爲憂矣 此ノ飢渴ハ即貧賤ノ

貧賤ノ故ニ心ヲ動かサスコレニ害セラレハコトナキ時ハ則ソノ恥謝ステニ人ニ

選タルト遠シク人ノ人ニ及フミレキト思フコト憂トスルニタラヌコト 孟子曰



柳下惠不以三公易其介 三公ハ大師大傅大保人臣ノ極官ナリ介トハ分辨

云柳下惠和ヲ以テ稱セラルトイヘテソノ聖ノ和ナルヲ以テ和ノ内ニ介アリ三公ノ榮耀ヲ得ルトイヘテ亦コトヲ失フトイヘテソノ守ル処ノ介ヲウツシカヘズ前篇ニ所謂柳下惠進

シノ賢ヲカクサス必クノ道ヲ以テス遺佚スレテ怨ニス厄窮ニレテ憫テ道ヲ直クシ人ニ事ニテニ夕ニ黜テラハニ至ルコレソノ介アル処ナリ然レテコレ孟子下惠ノ人トナリテ形

容ノシカイヘリ實ニ此ノアリトスルニラス○此ノ章柳下惠和ヲ流レサルヲ云孔子夷齊ヲ論ノ舊惡ヲ念ハストノ玉ルニ相類スミテ聖賢幽レタルヲ聞クノ心ナリ蓋シ夷齊ノ清ヲ

知りテソノ量アルヲ知ラス下惠ノ和ヲ知りテソノ介アルヲ知ラサレハナリ孟子曰有爲者辟若掘井道ヲ求ルニ

自フリタチテアカヲ用ルニサム者ヲ云辟ハ掘井九軻而不及泉猶爲棄井

譬ト同シタトヘノ心ハ下ニ見ヘタリ

也 軻ハ刃ト同シハ尺ヲ刃ト云泉ハ水ノワキ出ル処ナリ爲ルヲアル者ハニスハツノカイサム

故ニスムヲ速ケレモモシイマタ成ルニ至ラスマム時ハコレ自ツノ前ヲラスツルナリタトハ

ハ井ヲホルモノ深キヲ九軻ニ至ルトイヘテイマダ泉ニ及ハズマムガ如シコレナラ其井ヲ成

サスノ自コレラスツル者論語ニ子曰タトヘハ山ツクルガ如シイマタ二簣ヲ成サズメ止ハ吾カ

止ムナリト云心ト同シ一説ニスルヲアル者ノ志井ヲホルヲステニ深ケレモイマダ泉ニ及ハ

ズマムヲバ自ツノ井ヲラスツルガ如ク思ヒテソノ成ルニ至ルマデ志タユミヲコタルヲナレト

○呂侍講ノ云ク仁堯ニシカズ孝舜ニシカズ孔子ニシカサハ終ニイマダ聖人ノ域ニ

入ラス終ニイマダ天道ニ至ラズイマダ半途ニヌステ自前功ヲ棄ルヲ免レズト

孟子曰堯舜性之也 之ノ字ハ道ヲサスソノ實ハ仁義ノ外ナレトモ亦同シ性之

トハ堯舜ノ徳ハ天性渾ラカニ全ク修為ヲ自練ラカラスノ

自然ノ五霸假之也 五霸ハ一時ニ功アリトイヘテソノ術ハ仁義ノ名ヲ假借シ以テ之ヲ

久ミナリ人ヲ制服ソノノ貪欲ノ私ヲ濟サンヲ求ルノミナリ

假而不歸惡知其非有也 身ヲ終ルニテ名ヲカリナカラ得タリカレシトモコ

レニ居テ疑ハス然ル時ハ何ノ自ソノ實ニワカ有ル

処ノ者ニアラサルヲ知ラシ一説ニ云心ハコレソノ久ク假テカサレモノナリ世ノ人何ソ其

ノ有ニアラスノ偽ナルヲ覺ラシト○尹氏ヲモラク性之ニスルハ道トナリ身之スル道ヲ

行ナリサレテソノ功ヲ成ニ及シテハ則チナリ五霸ハ則チ冬公孫丑曰伊尹曰予

不狎于不順放大甲于桐民大悅 予不狎于不順トハ商書大甲ノ篇ノ文

ナリ云心ハ大甲ノレヲ義理ニシタカサ

ルヲ相ナレテコレヲ見ルニ忍ヒストナリ桐ニラクハ前大甲賢又反之民大悅

篇ニ見エタリ民伊尹ノ処置道理ニ當ルヲ信メ大ニ悦ヘリ

事亦前篇ニ見エタリ 賢者之爲人臣也其君不賢則固可放與伊

大ニ悦フノ義上ニ同シ 孟子曰有伊尹之志則可無伊尹之志則篡也

伊尹ノ志ハ天下ノ公道ニ一毫モ爲ニスル処マレ私意ナレハナリ篡トハ君ノ位ヲムハイ

トルナリ○蔡氏ヲモヘラク孟子ノ此ノ語タ伊尹ノ心青天白日ノ如クナルヲ見ルノミニ

アラズ百世ノ下ニ至ルニテモ姦臣乱賊ヲソノ罪ヲ逃ル処ナカラシム而コレヲ則可ナリ

ト云時ハ則亦ソノヤムヲ得サル変ニ処メ僅ニ可ナルニナリ君臣ノ正法ニアラスト

云フ 公孫丑曰詩曰不素餐兮 魏風伐檀ノ篇ノ詞ナリ素餐トハ

君

子之不耕而食何也

君子自耕之食ハ素餐スルコトアルコト其ノ下心ハ孟子時ニ功ナクメ諸侯ニヤシナルコトヲ疑ヒテトヘルナリ

孟子曰君子居是國也其君用之則安富尊榮

是國トハ泛クソノ居ル處ノ國ヲサスソノ

君賢者ノ言ヲ用ル時ハ身安ク富テ尊ク榮ルナリ

其子弟從之則孝弟忠信

子弟トハ泛クソノ國ノ子弟タル者ヲサス從

トクノ教ニ從フク不素餐兮孰大於是

大イナリトハソノ教化ノ功上下ニ及フコト云蓋シ丑カ此ノ疑ヒモ亦陳榘彭更カ如ク君子小民ソノ

功ヲ相勸ルノ義ヲ知ラスノ問ヘ

王子墊問曰士何事

墊ハ齊王ノ子ナリ何ヲカ事トス上ハ則公卿大

夫各國政ニ從ヒ下ハ則農工商賈各其ノ業ヲトル士ハ其間ニ

孟子曰尚志志トハ

キ向フ處ナリ士イニ父公卿大夫ノ道ヲ行フコト得ヌ又農工商賈ノ事ヲスヘカラス然ルニ志ヲ高クスルヲ以テ事トスルナリ蓋シソノ身ハ微賤ナレモ志ハ則高クスルコト云

曰何謂尚志曰仁義而已矣

志トハ高クスルヲ高クスルコト云志トハ高クスルコト云志トハ高クスルコト云

有而取之非義也

此ヨリ以下ハ仁義ヲ以テ志ヲ高クスルコト云志トハ高クスルコト云志トハ高クスルコト云

在仁是也路惡在義是也

仁ハ人ノ安宅ナル故ニ身ヲ置ク處トス義ハ人ノ正路ナル故ニ身ノ由ル處トス云心ハソノ居ル處由ル處只

是仁義ニアルコトヲ知リテカリ

居仁由義大人之事備矣

コレ孟子上文ヲコトハル詞ナリ

仁ハ心ニ存ル體ナリ義ハ外ニアル用ナリ士ノ志カクノ如クナレバイマタ大人ノ位ヲ得スドトヘ厄ソノ事ノ体用ステニ全レ且ソノ位ヲ得ル時ハ舉テコレヲ措クニナリカノ小人ノ事ノ如キハ固ヨリ

孟子曰仲子不義與之齊國而弗受人皆信之是

仲子ハ陳仲子ナリタトハ仲子ニ義ニ當ラズコレニ齊國ヲ受テ君トスルトモ必ス肯テ受クマレキコトハ世ノ人ニナリ

舍簞食豆羹之義也

賢コレヲヨクセンコトヲ信ズ然レモ此ハ只コレ一簞ノ食ニ豆ノ羹ナトノ小キ得モノヲハ廉人潔ヲ守リテステトラサル節義ナリ蓋シ外物ヲ辞スルニ天小アリトハ厄ナラミナ小廉ナリ

莫大焉亡親戚君臣上下

人タルモノ罪親戚君臣上下等ノ人倫ノ大道ヲステコレナキヨリモ大イナルコトナレ蓋シ仲子兄弟ヲサケ

母ヲハナレテ君ノ祿ヲハサル

以其小者信其大者奚可哉

故ニカクノ如クイヘリ

節義アルキコトヲ信テ遂ニコレヲ賢トス

士瞽瞍殺父則如之何

士ハ刑法ヲツカサトルノ官ナリ應カ意ニラモヘラク舜ノ孝ヲ以テ父ヲ愛ストイヘ厄私ヲ以テ公ヲ害スルコトハ

士瞽瞍殺父則如之何

士ハ刑法ヲツカサトルノ官ナリ應カ意ニラモヘラク舜ノ孝ヲ以テ父ヲ愛ストイヘ厄私ヲ以テ公ヲ害スルコトハ

シ卑陶直ヲ以テ法ヲ守ルトイヘ厄天子ノ父ヲ刑スルコトハハヒトヨリテ此ノ難問ヲ

トイヘ其然則舜不禁與

挑應トフ舜ソノ執ルコト曰夫舜惡得而禁之

夫有所受之也

卑陶法天ノ命ニ本ツキ聖人ノ制ニイテ法官世々受テ傳ヘテト

トイヘ臣ナシコシテ禁

然則舜如之何

桃應又曰舜視棄天下猶棄敝

蹤也

故蹤ハマフレタルヲクツテリ舜此ノ時ニ至リテハラセオラテノ竊負而逃遁海濱而處

終身訢然樂而忘天下

訢ハ欣ト同シヨロニアリ海濱ハ人トキ邊土ヲ云舜此

レ居テ臯陶カ法ヲカレ身終ルニテ其ノ親ヲ全フスルヲ樂シテナガク天下ヲ忘レシトナ

リ孟子又カツテイヘラク舜天下ヲ視ルハ州芥ノ如クメタ父母ニ順フノミ以テ憂ヲトク

ヘシト則チ此ノ意ト互ニ相發ス此ノ章云心ハ士タルモノメタ法アルヲ知リテ天子ノ父

尊シトスルヲ知ラス子タルモノハ父メタアルヲ知リテ天下ノ大イナリトスルヲ知ラス蓋

シラノ心トスル処ノ者天理ノ極リ人倫ノ至リニアラスト云フナシ學者コレヲ察シ得ルヲ

ラハカレシトタラヘハカレフヲメタズ天下ニ處シカクナケン而コレタ常法ヲ論シメタ

權制ニ及ハストイヘ臣必カクノ如クニ常法ヲ守ル心アリテ然ソ後ニヤムヲ得サルヲアル

時ニ至リテ變通ノ權ヲ擬スヘキナリ今ノ人イニタニツ此ノ心アラハハ臣權制ニ從ハントス恐ク

分レ忌憚ルヲナキニ孟子自范之齊望見齊王之子喟然歎曰居移

氣養移體范ハ齊ノ邑ノ名齊ハ齊ノ都ヲカス喟ハ歎ク声ナリ居トハ凡ル處ノ位ヲ云

位尊ク勢盛ナル時ハノ奉養モ亦隨テ世ノ子ナラスヨリテツノ氣大哉居乎

夫非盡人之子與孟子曰王子宮室車馬衣服多與人同而王

子若彼者其居使之然也

コレ居ノ氣體ヲ移スヲ又詳ニ歎キトケリ大哉居乎

トハオホム子ト云義ナリ孟子曰ノ三字ハ衍文ナリ云心ハ貴賤コトナリトイヘ臣三十人ノ子

ニアラスヤ而此ノ王子ノ宮室車馬衣服等ノ用ル處モ亦大體世ノ人ト同シ然ルニ王子カ

如クニ甚タ異ナルソノ居凡ル處ノ位況居天下之廣居者乎

天下ノ廣居ハ仁ナリ尊キ故ニコレヲ然ラシムルナリ

子孟子此章ノ意重キフ此ノ一句ニテ尹氏ノ云ク睥然トシ面ニラハ背ニ盡ルテ天下ノ廣居ヲ著ス然リ

魯君之宋呼於埳澤之門此ヨリ以下又居ノ氣體ヲ移ス一證ヲアク埳澤ハ宋ノ城門ノ各ナリ此門ニ呼ハフト八門

トナタル故ニ君自声ヲ發シ聞カシム或人云クコレ君從者ヲ呼テ命スル處ナリ門ヲ守ル者ヲ呼

味將者也

恭敬礼ノ威儀幣帛ニヨリテアフルトイハ幣帛ノイマダ奉ラサル時ヨリノステニコノ恭敬ノ心アリ然ル恭敬ハコレ礼ノ本實ナリ

無實君子不可虚拘

ラ其ノ国ニ留メラカレトナリコレソノカニノ諸侯幣帛ヲ以テ賢者ヲ待ストイハ庄恭敬ノ實ナクマ

孟子曰形色天性也

形ハ一身百体ヲスヘテ云色ハ形ノ動クニツレテ

可以踐形

踐形トハコノ形ニシテナリタル理ヲフフ云常人ハ此ノ形アレバ理ヲフム

然レ後ニシテ名ニ稱フヘシ衆人ハコレアレバ而モ知ラズ賢人ハコレヲ踐メ而モイマダ盡サス

則トハ性ナリ各ソノ則ヲ盡ス

齊宣王欲短喪

三年ノ喪ヲ

公孫丑曰爲菴之

喪猶愈於已乎

菴ハ周ル一年ナリ丑孟子ニ下フ三年ヲスキテ

或終其兄之臂子謂之姑徐徐云爾

三年セスハ期ヲセヨト云ハコレナラ或人

亦教之孝弟而已矣

亦タコレニ孝弟ノ至情ヲ教ル

王子有其母死者

王子ハ王ノ庶子ナ

其傳爲之請數月之喪

公孫丑曰若此者何如也

王子ハ王ノ庶子ナ

曰是欲終之而不可得也

雖加一日愈於已謂夫

莫之禁而弗爲者也

云心ハ王子母ノタメニ期ノ喪ヲ終ヘク欲スレモ制ニヨキラレテス

所以教者五

コト君子人ヲ教ルノ術廣キコト云ソノ五ツノ別アルコト或ハ教ヲ受ルモ

見たり有如時雨化之者

時雨トハ時ニ及ヒテフル雨ヲ云蓋シ草木ノ生スル種

變化ノ成就スルヲアタサル時ハ夕、雨露ノニルホシラマツカリナリ此ノ時ニ及ヒテコニ雨  
フル時ハ則ソノ化スルヲ速ナリ人資費ヨク学ガツモリタル上ニ君子ノ時至ルヲ見テ教ヲ施  
シシ化成スルノ妙モ亦カクノ如シ孔

子ノ顔子曾子ニラケルカ如キコトナリ **有成德者** ソノ徳性ノ長スル処ニヨリテ裁制シテ  
子ノ顔子曾子ニラケルカ如キコトナリ **有成德者** コレヲ成就ス孔子ノ再テ関子ニラケル

カゴ **有達財者** 財ハ物ト同ジノ才能ノ及フ処ニシタカヒテ通 **有答問者** 只ツク  
トシ **有達財者** 達ノコトヲスル孔子ノ路子貢ニラケルカ如シ **有答問者** 問ハル

ニラキテコレニ答ルノミナル孔子ノ樊遲 **有私淑艾者** 人或公地ニタリ時ヲシテ業ヲ  
ヲキ孟子ノ萬章ニラケルカトシ **有私淑艾者** 君子ノ門ニ受ルルアタタキ生者

ソノ道ヲタヘタル人ニ聞テコレヲヒソメトリテワカ身ヲ淑シタルヲ云淑クストハ善ニス、公艾  
ムトハ惡ヲ治ルナリコレ亦君子ノ教化ノ及フ処孔子ノ陳亢ニラキ孟子ノ夷之ニラケル

カ如クナルヲ云孟子亦自云クコトイタ孔子ノ徒タルヲ得ス予私タテ今淑ストコレ亦  
人品ノ高下ニシタカヒテ得ル処ノ大小アリ孟子孔子ノ道ヲキ、テ私淑スルハ時雨ノ化ス

ルト徳ヲ成ストノ間ニアル **此五者君子之所以教也** 上文ニ五教、實ヲアケ  
ヘシト金氏ノ説ニ見エタリ **此五者君子之所以教也** 輔子テ此ノ言ヲ以テ

スヘクレリコレ聖賢ノ教ヲ施スフ各ソノ才ニヨル小以テ **公孫丑曰道則高矣**  
小ヲ成レ大ハ以テ大ヲ成ススツルトコロノ人ナリ **公孫丑曰道則高矣**

**美矣宜若登天然似不可及也** 道ハ則高レ高キニヨリテ又美ナリコレヲ学フ  
者天ニ登ルカ如ク然ルハ然レハ企テ及ハレ

サル者ニ **何一使彼爲可幾及而日孳孳也** 教ヲ施ス人ナラカノ道ヲノ  
似タリ **何一使彼爲可幾及而日孳孳也** ホトト下及ハルハクナレテ人ヲノ

日々ニ孳々トメツトメ学ハレメヤ **孟子曰大匠不爲拙工改廢繩墨** 大匠ハ  
ルトコレ **孟子曰大匠不爲拙工改廢繩墨** 大匠ハ

拙工ハツタナキタクニナリ下手ヲ云繩墨ハナハスニナリ大工ハタトヒ拙工ニ教ユレ  
スニカ子ヲ以テメステス蓋シ不易ノ成法ヲオトヒテヒキク教ルフアタサルナリ **羿不爲**

**拙射變其教率** 羿カノ前篇ニ見エタリ拙射ハツタナキ射ヲ **君子引而不發**  
上 **拙射變其教率** 羿カノ前篇ニ見エタリ拙射ハツタナキ射ヲ **君子引而不發**

**躍如也** 上文ノ射法ヲウケテ云君子ノ人ヲ教ルフコトヲ矢ヲ敷率ニ引キニツルニテラ告タ  
テソノ矢ヲキリチタサルカカレ蓋シ夫ハツツノ機ハ手ト心トノ自得ノ妙ニアリ言

語ヲ以テカタリツケラヒス君子ノ教ヘモ亦只學者ノタメニコレヲ学フノ成法ヲ以テスルノミニ  
コレヲ得ルノ妙ハ告ルルアタサルナリ躍ハトルナリ自得ノ妙ハコレヲ告グストイヘ亦亦テ

二躍如トナリ出ルカ **中道而立能者從之** 及ナキ中庸ノ精微難キニアラス易  
如クニ眼前三アルナリ **中道而立能者從之** 及ナキ中庸ノ精微難キニアラス易

キニアラサルノ道ヲ学フタメニ立テテキテ標的トスル処ナリ能ク学フモノハコレヲ見ツケテ  
ソノ功積リテ然スルノ後コレト相從ヒテソトナルコレ學者ヲ分ケセハ詞ナリ○此ノ章云心ハ

道ニ大小浅深一定ノ体アル故ニコレヲ教ルニモ各理處ノ法アリテ益リシス亦損サレ  
語リテ生シモアラハセサル処アリ **孟子**

**曰天下有道以道殉身** 殉トハ物ニツキタカヒテイツクニテモハナレサル義ナリ君子  
天下ニ道アル時ハク身出テ世ニアル故ニ道必ワカ身ニ隨

ヒテ常ニ行ヒ **天下無道以身殉道** 道スタレテ行ハレサル時ハワカ身モ亦必カク  
用ヒテナル **天下無道以身殉道** 道スタレテ行ハレサル時ハワカ身モ亦必カク

相隨ヒテ **未聞以道殉乎人者也** 道ヲ在ゲ人ニ隨ヒテ利祿ヲ求、權勢ニホコル  
ハナレス **未聞以道殉乎人者也** 道ヲ在ゲ人ニ隨ヒテ利祿ヲ求、權勢ニホコル

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**  
コレ當時ノ仕ル者ヲシレイマシム **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**  
コレ當時ノ仕ル者ヲシレイマシム **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**  
コレ當時ノ仕ル者ヲシレイマシム **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**  
コレ當時ノ仕ル者ヲシレイマシム **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**  
コレ當時ノ仕ル者ヲシレイマシム **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

如クスルヲ我イマダコレヲキカスト **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**  
コレ當時ノ仕ル者ヲシレイマシム **公都子曰滕更之在門也若在所禮而**

不答何也 滕更、滕ノ君ノ弟孟子ノ門下ニ來リ學ヘリ然ルニ孟子ツノ問フ処言ヲツク

者ノヤウナルニ今カタノ如ク 孟子曰 挾貴而問 挾賢而問 挾長而問 挾有

勲勞而問 挾故而問 皆所不答也 挾ノ字義前篇ニ見ヘタリ長ト八年々々

故ハ師ニ故舊ノヨレミアルヲ云此ノアタノ者一ツモ心ニ挾スアリテ問フ時ハ内ムテ 滕更有二

焉 ニツトハ貴ト賢トヲ挾ムナリ此ノニツアル故ニ答ヘストリ蓋シ公都子カ疑ヒカレ貴クノ賢

ナルヲ以テ礼セラルヘキトト愚ヘルハカリニテ孟子ハ反テ此ニツヲ挾ム以テ答ヘサルヲ

知ラサレナリ 此ノ章云意ハ君子ハ人ヲ教ヘテ 倦ストイヘ正スノ心ヲ誠テラサル者ヲ愚ムトナリ 孟子曰 於不可已而已者無所

不己 凡ソ人妻ヲ処置スルニ道理ノセズヤレサルヲコトイフコトヲマメテセサルト 於所厚

者薄無所不薄也 人ヲ待遇スルニ必ク慈厚ナルヘキ処ニライテ或ハ財ヲオシメ或ハ勞ヲハ

ナレ此ノニツ皆 其進銳者其退速 修スル処ノ學業勇猛ニシテ直ニスニエケルハ

不及ノ弊ヘナリ 曰ノ浮氣ニ乗ヌルトニスニエケル者ハ必ク久キニタズノ退クモ亦速ナリコレ毎ニ心

ヲ用ルル大過ナル弊ナリ上ニツト過不及ノ不同アリトイヘシトイハ同クスルハハハハ

スル 孟子曰 君子之於物也愛之而弗仁 物トハ禽獸草木ヲサス愛ムハ

ルヲトラスイニダ成長セサルヲトラス木葉ヲチキテ後ニコレ伐ルノ類ナリ又コレ用ルニ

節アリ祭祀賓客及ヒ国家官民ノ公事ニアラサレバ妨ヒテ用ヒサルナリ仁トハ愛レシ

深シコレ人ヲ愛スル道ナリ 於民也仁之而弗親 民トハ泛ク人ヲサス仁トハ五ノ力老ヲ

ヨリテ物ニハ及ハサルナリ 親親而仁 トメスノ如ク及ホスノ類ヲ云人ハ同イナル故ニ万物ニカカリテコレライツクレム然レ

トモワカ親族ニ比スレハ疎キ故ニ只ヒロク仁トムハカリニテ切ニ親ニメナリ 民仁民而愛物

上ノ親ノ字ハ孝順慈和ノ道ヲ盡スソノ下ノ親ノ字ハワカ親族ヲサス

ノコノ發意ノ次序アリ君子ノ仁心キハミナレトイヘ正此ノ序ニレタカハサレバノ恩ヲ推シ

廣メテ各ノ処ヲ得セシムルヲアタハスヨリテ此段上文ヲウケテニツノモノ等綴次第ナク

テカナハサル故ヲトク揚氏ノ云クツノ分同シカラスコノ故ニ施ス処差等ナキトアタハス所謂理

一ニノ分殊ナリト云者ナリ尹氏ノ云ク何ヲ以テカコノ差等アル本ヲ一ニスル故ナリ偽ナ

キナリ或人ノ云ク此ハコレ 孟子曰 知者無不知也 當務之爲急 此ノ章國

墨氏兼愛ノ説ヲヒラケリ 仁者無不愛也 急親賢之爲務 此ノ章國

人ツノ務ル処ヲ知ルヘキヲ云知者ハモトヨリ事ニツイテ知ラスト云処ナレサレ正常ニツノ

務ヲ用スヘキ処ノ事ヲ以テ急トニスルコトヲ察スニシテ其ノカヨキハム然ルトキハ事ノ

ノ序ヲ得テ治マラスト云フナクツノ智タルヲ大ヒナリコレ即チ智ヲ盡スノ術ナリモレ終ニ

編ク知ラニク欲スルニ急トスル処ヲ先ニセサレハ心神ヲ勞レ精カク窮シ正イニ偏キ

知者無不知也

仁者無不愛也

當務之爲急

急親賢之爲務

知者無不知也

知而不徧物急先務也堯舜之仁不徧愛人急親賢也

不能三年之喪而緦小功之察放飯

流歆而問無齒決是之謂不知務

三年之喪八服ノ重キ者ナリ緦麻ハ三月

小功ハ五月服ノ輕キ者ナリ察ハニストハ

全體ヲ識ル時ハ心狹カラス先後スル処ヲ知ル時ハ事序アリトナリ蓋シ全體ヲ識ル故ニ

多クカフヨク先後ニ明ナリ先後ノ序ニシタカク故ニ周徧ルヲ得テツイニ全體ヲツクサ

ルナリ曲豆氏ノ云ク智先務ニ急ナラサレハ徧ク人ノ知ル処ヲ知リ徧ク人ノ能クスル処ヲヨクスト

イハ臣徒ニ精神ヲツイヤレテ天下ノ治ニ益ナシ仁賢ヲ親スルニ急ナラサレハ民ヲ仁クレシ物ヲ

愛レム心アリトイハ臣小人位ニ在テ下ニ達スルノ由ナシ聰明日クニ上ニ

繼ハレテ惡政日クニ下ニ加ハルコレ孟子ノ所謂務ヲ知ラサルナリ

盡心章句下

孟子曰不仁哉梁惠王也仁者以其所愛及其所不愛不仁者

以其所不愛及其所愛

曰何謂也

其民而戰之大敗

將復之恐不能勝故驅其所愛子

是之謂以其所不愛及其所愛也

孟子曰春秋無義戰

彼善於此則有之矣

敵國不相征也

敵國トハ敵

相アタリテ對

正スル名目ナリヨリテ上ト下ヲ伐ノトス

敵國不相征也

敵國トハ敵

相アタリテ對

正スル名目ナリヨリテ上ト下ヲ伐ノトス

揚スル義アリ共ニ諸侯ニ名分相ヒトシキ國ヲ云諸侯ハモト相征伐スル道 孟子曰盡信

書則不知無書 凡ノ事ヲカキシルス詞ハ重クイヒテソノ實ニスルモノニコレアリ 學者詞ヲ以テ其義ヲ害スルコトナカルヘレモレ詞ヲ信メコレニツム

吾於武成取二三策而已矣 武成ハ周書ノ篇名武王紂ヲ伐テカ(リ)モ(リ)時 史官ノ事ヲ記セル書ナリ策ハ付ノフ冬(リ)古(ノ)

仁人無敵於天下 古語ヲ以テ至仁伐至不仁而何 仁人ハ天子ナリ天子タリ孟子云ワレ只ソノ二三策ノ言ヲトルノ三ナリ餘ハ二

其血之流杵也 杵ハキ子ナリ糲ヲツキ糲ヲツクニ用ルル也ナリ一書ハ(ハ)字ニ作ル國 糲ナリ武成三云ク武王紂ヲ伐ツツ紂カ前徒セテ倒ニシ後ヲセメテ

曰有人曰我善爲陳我善爲戰大罪也 人トハ戰國ノ士ヲサス陳ハ陣ト同シ 陣ダテスルコトヲ云戰ハ合戰ナリ大

而征北狄怨東面而征西夷怨曰奚爲後我 段ノ心ヲ明ス義ハ前 南 即仁人ハ天下ニ敵ナシノ義ナリコ

國君好仁天下無敵焉 上文大罪ノコトヲトクナリ 此ヨリ以下ハ又武王ノ

武王之伐殷也革車三百兩虎賁三千人 此ヨリ以下ハ又武王ノ 事ヲヒククノ心上段ト同

革車トハ兵車ハ車ヲ以テカサリトスルモノヲ云兩ハ車ノカズ一車兩輪也ハチ虎賁トハ射 御ヲトル勇士ノ君ニ近キヲウ者ヲ云三千ヲ書ノ序ニ三百ニ作ルイツレテモ武王ノ多勢ヲ用

王曰無畏寧爾也非敵百姓也 コレ書ノ誓誓ノ篇ノ詞ナリ文今ノ書 小キ異ナリ武王殷人ニ命スラクナ

若崩厥角稽首 義前 義前 義前

也焉用戰 征之爲言正也各欲正己 義前 義前 義前

故湯武三歸伏スルコトカクノ如シコレカ仁 孟子曰梓匠輪輿能與人規矩不

能使人巧 梓匠ハ細工匠人ハ大工共ニ規矩ヲ云輪輿ハ車ノコトヲ云ノ 教ルルノモノ規矩ヲ用ルノ法ハ告ケカタルヘシノ巧ニテハコレヲ云フ者

ノ知術ニテ大匠トイヘシコレヲサクルアタスコレ詩ノ比喩ノ如シ學者受ルル教ノ 内ニテ自得其妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ三以テ傳フヘシ上達ハ必心ノ

能使人巧 梓匠ハ細工匠人ハ大工共ニ規矩ヲ云輪輿ハ車ノコトヲ云ノ 教ルルノモノ規矩ヲ用ルノ法ハ告ケカタルヘシノ巧ニテハコレヲ云フ者

ノ知術ニテ大匠トイヘシコレヲサクルアタスコレ詩ノ比喩ノ如シ學者受ルル教ノ 内ニテ自得其妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ三以テ傳フヘシ上達ハ必心ノ

能使人巧 梓匠ハ細工匠人ハ大工共ニ規矩ヲ云輪輿ハ車ノコトヲ云ノ 教ルルノモノ規矩ヲ用ルノ法ハ告ケカタルヘシノ巧ニテハコレヲ云フ者

ノ知術ニテ大匠トイヘシコレヲサクルアタスコレ詩ノ比喩ノ如シ學者受ルル教ノ 内ニテ自得其妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ三以テ傳フヘシ上達ハ必心ノ

能使人巧 梓匠ハ細工匠人ハ大工共ニ規矩ヲ云輪輿ハ車ノコトヲ云ノ 教ルルノモノ規矩ヲ用ルノ法ハ告ケカタルヘシノ巧ニテハコレヲ云フ者

ノ知術ニテ大匠トイヘシコレヲサクルアタスコレ詩ノ比喩ノ如シ學者受ルル教ノ 内ニテ自得其妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ三以テ傳フヘシ上達ハ必心ノ

能使人巧 梓匠ハ細工匠人ハ大工共ニ規矩ヲ云輪輿ハ車ノコトヲ云ノ 教ルルノモノ規矩ヲ用ルノ法ハ告ケカタルヘシノ巧ニテハコレヲ云フ者

ノ知術ニテ大匠トイヘシコレヲサクルアタスコレ詩ノ比喩ノ如シ學者受ルル教ノ 内ニテ自得其妙ヲサトルヘキコトヲ云ム蓋シ下學ハ三以テ傳フヘシ上達ハ必心ノ



孟子曰舜之飯糗茹艸也若將終身焉糗トハホレイニナリ艸トハ野菜ヲ云コレ舜ノ貧

賤ナルトキノ有リク心貧賤ニ安シ玉フ故ニソノ及ニテハ天子也及其為天子也被衽衣鼓

琴二女果若固有之衽衣トハ衾トナリ玉フ時ハ常ニエカケル衣ヲ服シ安閑ニ琴ヲヒキテ

樂三堯ノ二女カタハラニ侍リテツカフニツルカクノ如ク一旦ニ富貴ヲキハメ玉ヘ臣ソノ心ヲカダ

ナク富貴ヲ以テ内ヲ動カスヲタク只ソノ遇フ處ニ隨ヒテ安シシソカ身ニツカリワタルナレトモ天性ノ分量モトヨリ定リテ貧富窮達ヲ以テニスヲモナクツルルモナケレバ

孟子曰吾今而後知殺入親之重也親トハ父兄ヲサレテ云ワレ今ニツイテ

知ルトク心ハ下文ニ見エタリ蓋シ時ニ冬ニ殺入ノ父兄ヲ殺スノ大事ナレトモ

人亦殺其兄ノク父其兄トハツカ父兄ヲ云フコレ必ソノ然則非自殺之也一間

耳ソカコレヲ殺スニヨリテ人亦コレヲ殺ス時ハ三ツカヲ殺スニアラストイヘ只彼ト我ト人ト

敬ノ人モ亦クノ親ヲ愛敬ス孟子曰古之為關也將以禦暴古代ノ關ヲスヘンク

者ノ出入ヲ點檢シソノ暴虐セン今之為關也將以為暴今ノ世ノ關スフル

トリテ國ノ利トシ往來ノマヤミヲノスコレ暴虐ヲフセグガタナラス及テコレヲ以テ

ヲ以テ暴ヲスルリ文王ノ困ハ民トソノ利ヲ共ニス齊ノ宣王ノ困ハ國中ニフトシテ

ノ政ヲ行ハ凡ソ此ノ類ニテ日孟子曰身不行道不行於妻子道ヲ行ハセハ

親キ妻子トイヘ見ナラフ使人不以道不能行於妻子今使

ハ妻女子ニ行ハレストイヘ臣ナヲヨノツ子ヲ車ニハサレツカフヘシ

孟子曰周于利者凶年不能殺人ソノ身ヲ利スル則數年ノタク

周于德者邪世不能亂德ヲツクニシテ

孟子曰好名之人能讓于來之國積ムク厚キ時ハ其ノ用ル處餘アリナリ

苟非其人簞食豆羹

見於色モレソレモトヨリ富貴ヲカロンノ真ノ國ヲ克人ニアラサレバ及テ簞食豆羹

色ニアラハルナリ蓋シ人ヲ見ルソノ心ヲ用ヒテツクトル

カレシムルニライテコレヲ見レハカノ心底ノ安スル處分明ニ見ユルナリ

然レハ名イサキヨソ

利ハニゴリテ異ナル処アリトイヘ凡共ニツノ人 孟子曰不信仁賢則國空虛

欲ニ根サシテ出テ來ルヲ知ルヘシ 仁賢ノ二字ワキテコレヲイハレ仁人ト賢徳ノ人ナリ合セテコレヲイハレ仁徳ノ賢 無禮

義則上下亂 禮義ハ貴賤ノ分際ヲワキテ人民ノ志ヲ定ムル処ノ 無政事則

財用不足 政ハ大綱事ハ事目ナリ共ニ法制禁令ノヲ云財ハ穀貨物ノ總名ナリ

レヲ取ル時ヲクコレヲ用ルノ限ナレヨソテ財用ツ子ニ不足ナリヨ氏ヲモラフ此ニツク者

孟子曰不仁而得國者有之矣不仁而得天下未之有也 人ノ

私智ヲハセ用フヘ千乘ノ國ヲモヌスニトルコアリ然レ天下萬民ノ心ヲ得テコレニサダタル

ソイダツノタメアラザルナリ郷民ヲモヘラク秦ヨリ以來不仁ヲ天下ヲ得ルモノナキニア

ラス然レトモニチ一ニ世ニコレヲ失フ得ルトイヘナラ得サルカ如レ凡 孟子曰民爲貴

ソ天下ヲ得ルト云ハ必ス三代ノ王者ノ夢而後ニイハレタル者ナリ 社稷次之 社ハ土地ノ神稷ハ穀ノ神ナリ凡ソ國ヲ

スヨリテ最貴キ者ハ民ナリ 是故得乎丘民而爲天子得乎天子爲諸侯得

乎諸侯爲大夫 丘民トハ田野ノ民ヲ云至リテ微賤ナリトイヘ凡君ソノ心ヲ得ルニ至ル

ナルコトヲ得ルナリ天子ハ至リテ尊貴ナリトイヘ凡其心ヲ得ル者ハタ、諸侯トナルニスキス諸侯

ハ天子ニツキテ貴シトイヘ凡ソノ心ヲ得ルモノハタ、大夫トナルニスキズコレ民ヲ最モ重貴ナリ

スルノ 諸侯危社稷則變置 國ハ社稷ノ存亡ニカレラ以テ國ヲ稱ソ社稷ト云コレ

故ナリ 此ノ時ハソノ君ヲ變改メ別ニ賢君ヲタテキ 犧牲既成粢盛既潔祭祀以時然而

置クコレ君ハ社稷ヨリモカロキナリ 早乾水溢則變置社稷 犧牲成リ粢盛潔キ義ハ前篇ニ見タリ祭祀以時ハ祭

災ヲセグコアタスマナラ早乾キ水イテ溢ル時ハソノ檀ヲコホチテ社稷ヲ新ク變置スコレ

社稷ハ君ヨリ重ケレ凡民ヨリ輕キナリ此ノ章ハ蓋シソノカミノ諸侯民ノ重キコトヲ知ラスノコレ暴

虐スルカタ 孟子曰聖人百世之師也伯夷柳下惠是也 聖人ハソノ德行

ニ發ヒリ 故聞伯夷之風者頑夫廉懦夫

有立志聞柳下惠之風者薄夫敦鄙夫寬 故聞柳下惠之風者頑夫廉懦夫

奮乎百世之上百世之下聞者莫不興起也非聖人而能若是

乎 其風ヲ百世ノ上ニフルヒテ百世ノ下コレキク者感動ノ興リ起タスト云フナレ聖域ニ至レル人ヲラスノヨクカクノ如クナルコトヲ得シヤ 而況於親炙

之者 親ハシタレク炙ハスナリ云心ハ百世ノ下ニテ其風ヲキク者タニカクノ如シ而ルヤ上ノ人ニシタレクチカツキテ火ヲ以テヤキフスベラルカ如クニ直ノ教化ヲウクル者ヲヤ

孟子曰仁也者人也 仁ハ人ノ人タル所以ノ理ナリヨリテ直ニソノ徳ヲツケテ人ト云蓋シ彼加ノ声ハ此ガノヨミノ如シ古人此義ニヨリテ仁ノ字ヲ

訓ノヒト、合而言之道也 仁ハ人ニ具ル理ニテ体ナリ人ハソノ理ヲウケテソナル処ニヨムコトアリ 物ナリ人ソノソナル理ノミニ行ヘバコレ道ニテ用ナリコト故

也去父母國之道也去齊接淅而行去他國之道也 此章ハ重ニ仁ヲ人ノ身ニ合セテソノ行ハルル処ヨリコレ 孟子曰孔子之去魯曰遲遲吾行

子曰君子之厄於陳蔡之間無上下之交也 君子トハ孔子ヲサシテ云名ソノ間ニ厄トハ夫子楚ニキキマフ時陳蔡ノ地ニテ難厄ニアヒ糧タユルコトアリソノ

貉稽曰貉八姓稽大不理於口 貉ハ賴ノ字ノ義ナリ云心ハハナハタ諸人ノ口ニシリノカミノ君臣ニテ惡タ賢ヲ尊フコトヲ知ラストモニ交ルヘキ人ナカリシカ故ナリ

子曰孟子曰無傷也 害ナシケルシカトヘ 士憎茲多口 憎ハ増ノ字ノ誤ナリ云心ハ士

コノ故ニ傷フ 詩云憂心悄悄愠于羣小孔子也 詩ハ知風柏舟ノ篇ノ詞ナリナレト云フ 詩云憂心悄悄愠于羣小孔子也 詩ハ知風柏舟ノ篇ノ詞ナ

ハ多ク小人ナリコレ衛ノ仁人羣小人ニイカレタルコトヲ作リタル詩ナリ孟子コレヲ引ニラモヘラク孔子ノ當時多ク人ニソレラレ玉フ此詩ノ詞ニアタルヘシト 肆不殄厥

愠亦不殄厥問文王也 詩ノ大雅縣ノ篇ノ詞ニ太王昆夷ニツカフル時ツイニカレカヲ孟子又コレヲ引テラモヘラク文王ノ紂カ難ニアヒ玉フ時モ亦タクノ如ク此ノ詩ノ詞ニアタ

ルヘシト蓋シコノ二段聖人タモ人ノソレラレ玉フアゲテ上文傷フコトナキノ意ヲ足ス○尹氏

孟子曰賢者以其昭昭ヲモヘラク人モシワレラソレラバタ、自処スルコトイカシト顧ミテ 孟子曰賢者以其昭昭

使人昭昭 昭々ハ明ナルソコレ人ヲ治ル者ニツキテ云自ソノ明ノ我ニアル道ヲツクサマクノ人ヲウラミトカムヘカラス 今以其昏昏使人

昭昭 昏々ハクフキナリソノ昭々 孟子曰山徑之蹊間介然用之而

成路 徑ハ小路ナリ蹊モ亦三チナリ徑トハ蹊ク云蹊ハ人ノフリケテトアル処ヲ云介然チニチノ義ナリ路ハ大路ナリ云心ハ山路ノワタヒユク処モ人コレニ由リテ往來スル時ハ

爲間不用則茅塞之矣 忽然トハ大路トナルトナリ 爲間不用則茅塞之矣 忽然トハ大路

今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣

今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣

今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣

今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣 今茅塞子之心矣

ナリト云フコトニヨリ **高子曰禹之聲尚文王之聲** 文王ノ樂ニヨエタリトナリ

孟子曰何以言之 高子カ評論 **曰以追蠡** 追トハ鐘ヲツリカクル処俗云龍

リ禹ノ時ノ鐘今ニアル者ソノ追蠡ノハムルカ如クニナリテチギレトスコレノ樂ヨキニヨリ

テコレヲ用ル者多クカクノ如シ而シテ文王ノ鐘ハ然ラズコトヲ以テ禹ノ樂ノ文王ノ樂ニサリ

タルコトヲ **曰是奚足哉** コト事ナシコトヲ **城門之軌兩馬之力與** 軌ハ車輪

アトナリ兩馬ハ車一兩ヲ云馬二匹カクハナリ蓋シ城中ノ大路ハ車九兩ヲナラフルホトナルニ

ヨリテ車ヲヒキヒチラシテ軌ノアト淺シ城門ハ只二兩トナル故ニ前後同シ処ヲヒキテ軌ノ

アト深シク深キコト一時二車ノトナルアトナラシヤト久シクタビカサナリテ然リト云心ハ禹ノ

時ハ文王ヨリ前千餘年ナル故ニラノ鐘ノ追ノコトチギレトス用ルモノ多キ故ニアラスコトヲ

以テ兩樂ノ優劣ヲ議スヘカラストナリ高子古樂ノヲモムキヲ知ラスノアサキ処ヲ以テトフ

故ニ孟子モ亦コレニ答ルコトヲ只カク如シサレト章ノ文義モト分明ナラスコレハ只從來相傳

ナリ **齊饑** 凶年ヲ饑 **陳臻曰國人皆以夫子將復爲發棠殆不可**

復 棠ハ齊ノ邑ノ名ナリサキニ齊國凶年ナリシ時孟子ヲラスメ棠邑ノ倉ヲヒラキテ貧窮

又自ウカヒトフ此ノ事ホトシドフ多シ **孟子曰是爲馮婦也** 馮婦ハ人ノ姓名ナリ

セラルレキカト殆トハ疑フ詞ナリ **晉人有馮婦者善搏虎** 馮婦ハ人ノ姓名ナリ

ヨセテ云ク我コレヲフタヒセハコレ馮婦カ **望見馮婦趨而迎之**

諸人馮婦カ來ルル見カケテ幸ナリトナリ **馮婦攘臂下車** 馮婦虎ヲトラレト

來テコレヲ迎ヘ此ノ虎ヲトラレト請フ **衆皆悅之** 馮婦虎ヲトラレト

齊王ステニ孟子ヲ用ルコトアタハズ孟子モ亦國 **孟子曰口之於味也目之於色**

也耳之於聲也鼻之於臭也四肢之於安佚也性也 此性ハ天性ノ

發スル処ヨリ云コト五ツノモノ欲モ亦ミナ人 **有命焉** 或ハ稟ル処ノ分限ニヨリ或ハ遇フ処ノ

ノ天然ニアル処ナレ故ニ性ナリト云フ **君子不謂性也** 君子ハツノ命ノアル処ヲ知リテコレニ安レヌヨリテ

ト云者ノアルナリ **仁之於父** 仁ハツノ性ノアル処トイヒテ必ツク欲スル処ヲ得

子也義之於君臣也禮之於賓主也智之於賢者也聖人之於

天道也命也 父子ノ恩愛ハ仁ヲ主ス君臣ノ分限ハ義ヲ主トス賓主ノ交際ハ礼ヲ主ト

ス而シテ人ニヨリテ厚薄コトナリ智トイハレ人ノ賢否ヲ知リツクサル

仁之於父

処アリ矣 聖人孔子ノ知ラサルガ如キコナリ 聖人トイヘトコトク天道ニマハサルアリ 伯夷  
抑下惠ノ清和ニ偏ナルガ如キコナリ 此ノ五ツノモノモ亦ミナクノ人ノ稟タル天命ニテ然リ

**有性焉** 此ノ性ハ本然ノ理ヲ以テ云理ハ命ノ 君子不謂命也 君子ノ性ノ理ヲ  
命ニテ變化ノ至善ナルヘキ故ニコレヲ命トイフタツトモテ性ノ善ニカハルリ凡ソ性命ニ各  
氣ノ辨アリトイヘ混ニテニツアラズ然ルニ世ノ人ハ上ノ五ツノ者ヲ性ノアル処トコレヲホシ  
イニコレヲ命ノカキリアルヲ知ラス此ノ五ツノ者ヲ命ニウケタリトイヒテコレニエタリテ性ヲク  
スヘキコトヲ知ラフコト故ニ孟子君子ノ道ヲ以テコレヲ正シ各ク重キ処ヲアケテ以テコレヲ伸  
抑スルヲ

**浩生不害問曰** 浩生ハ姓不害ハ 樂正子何人也 子思子  
抑スルヲ

**曰善人也信人也** 義ハ下文ニ見エタリ **何謂善何謂信** 不害  
凡ソ天下ノ理ヲ善ナル者ハ欲スヘシノ惡ナル者ハ惡ムヘシトナリ欲シ  
クテ惡クカラヌハコレ善人ナリ善ハ天性ニ然ルアリ又學カテ以テ至ルリ **有諸已之**  
**謂信** 信ハ實ナリソノ欲スヘキ善實ニ已テアリテ善ヲコノムコト好色ヲコノムカ如ク惡ヲニク  
時ハ則コレ居ルコト安クコレニ資ルコト深ク美ニシテ大ナルニヤウヤクニシムヘシモ徳ニ欲スヘキ  
善アレモアルカ如クナキコトクナルノミナル時ハヨク世俗ニソミテ變セラレサル者鮮カラシ

**充實之謂美** 充實ハ三チニツルナリ善ノ信ナルコトヨク學カ  
ツル時ハ美ナルコトニ至極ノ外ニ **充實而有光輝之謂大** 光輝ハヒカリカマヤチ  
求ルコトヲ待タズコレヲ美人ト云ナリ

**大而化之之謂** 光輝又外容貌ニアラハレ事業ニ發スル時ハ德業トモニ盛シナル  
至極ニテ又此ノ上ニ加フキ処ナレヨリテコレヲ大人ト云フナリ

**聖** 聖ハ通セスト云外ナキ義ナリソノ明德毫忽ノ障リテ天道ト合一ニ人ノ類ノ極致ナリ  
蓋シ美大ハナラ形状ノ擬議スヘキ処アリソノ融化ヲノ述見エスナルニ至ル時ハ則思ハス  
勉メス從容トシ道ニアルノ聖人ナリコレ人カノ能スル外ニラスコト故ニ張

**之之謂神** 程子ヲモテ只コレ聖德ノ神妙ニテ人ノ測リ知ルコト **樂正子二之中**  
アタハサルヲ云聖人ノ上ニ又一等ノ神人アルニアラス

**四之下也** 善信ノ間ニアリテ美大聖神ノ下ナリ 孟子曰 **逃墨**  
ノ者中ニアリト云時ハ善ニ餘アリテ信ニタラサルナリ

**必歸於揚** 揚必歸於儒 儒氏カ兼愛ハ外ヲトメテ人情ニテ揚氏カ為我  
クノ如ク 歸斯受之而已矣 儒タル者カ陥リ溺ルルコト久キアラハレ三梅ヒ悟ルコト

**今之與揚墨辯者** 如追放豚既入其苙又從而招之 獸ノ入  
フヘシ 今ノ之與揚墨辯者ハ 追放豚既入其苙又從而招之

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ  
盡セルナリ 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**粟米之征** 粟ハモミミ力役  
至リ義ノ 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

**至リ義ノ** 孟子曰 **有布縷之征** 縷ハイトナリ征ハ

**力役** 年貢ナリ下同

之征

カ役ハ人加ノ夫役ナリ軍陣工傳ナリ  
以上ノミハ古今賦征ノ通法ナリ  
君子用其一緩其二  
布縷ハ夏ニトリ粟  
米ハ秋ニトリカ役

ハ冬ニトリコレ定例ナリ君子ノ政ラスルニハ必コノ例ヲ多カヘズ  
一時ニ各タマフヲトリ用ヒテ餘ノニツハユルヘテトラス  
用其二而民有殍  
モレモ二時

ウラ併セトル時ハ民カ  
用其三而父子離  
モレ又一時ニ三ツヲカララセメトル時ハ民イヨ  
ワカズノ餓殍アリ

邦ノ本ナリヨリテ  
知ノ本ナリヨリテ  
魏歛急ナル時ハ則チウツ國必スアヤウシ戦國ノ時民ニ下ルノ定法ナレト時ニ二  
ウラトリニツラトリ又分外ノ賦征アリコノ故ニ孟子古法ヲツヒラカニアケテ今ノ虐政ノ害

ヲナスコトヲ  
孟子曰諸侯之寶三  
寶トハコレヲ重シコレヲ貴ヒテ敢テカレシメモテ  
アツハセリ

土地人民政事  
土地ハ即國土ナリ人民ハ土地ヲ守ルル外ノモノ政事全  
實珠玉者  
地人民ヲ治ルル外ノモノコレヲ諸侯ノ三寶トス

殃必及身  
諸侯モレ此ノミツヲ重貴セスノ無用ノ珠玉ヲ寶愛  
盆成括仕於  
死ナレトハ其終リヲ  
善クセシトナリ

齊盆成括  
孟子曰死矣盆成括  
盆成括見殺  
括果ソ  
殺カレ

門人問曰夫子何以知其將見殺曰其爲人也小有才未  
テ死  
スナリ

聞君子之大道也則足以救其軀而已矣  
君子ノ大道トハ仁義忠信  
コレナリホアリテイニ大道ヲ

キカサルモノハ必スソノオラ  
テ死  
スナリ

ラフ道ハ以テ材ヲオサムホ  
ハ則道ヲ行ハル者ナリモレオアリテ道ナキ時ハ以テ禍ヲトルニ  
足レリ道ハタトハ主人ノ如シ材ハタトハ奴僕ホレイミテ主人コレヲ制スルコトハ豈ノ家ホ

ロビガレトヲ得ヤ  
材ニ過アルニアラズ材ヲ用ル者ノ誤ナリ蓋シイニ道ヲキカサバ小シキ  
ホアルモノ禍ヲ招クニミアラスホイヨク大イニ禍イヨク速ナルコトアリ般紂智伯カ知キニレ

ナリ然レモソノ人イニ仕ハサル時ハホトクニシテスル処ナキ故ニ禍イニ必スレモ  
遷ニ及ハズコノ故ニ孟子括ガ出テ仕ルニライテソノ善ヲ終ヘサランコトヲ知レリ  
孟子之滕

館於上宮  
上宮ハ旅館  
有業屨於牖上館人求之弗得  
業屨トハ織リ  
カケタル屨ノイ

成ラサルヲ云館人ハ館主ナリ蓋シ屨ハ館主ノ  
作レル処コレヲ牖ノ上ニキケルカウセテタツヒ得ザル  
或問之曰若是乎從者之

廢也  
從者トハ門人ノ從ヒ來ル者ヲサス或人此ノ事ヲ孟子ニ問  
曰子以是爲竊

屨來與  
是トハ從者ヲサス云ハコレヲワレニツキキヒテコレニテ從ヒ  
來ルホトノモノヲ子屨ヲヌスンガタメニ來ルト思ヘルカト  
曰殆非也  
或人ノガ

ツル処ハ殆ント非ナラント  
夫子之設料也往者不追來者不拒  
料トハシテ  
リ凡ソ人ヲ

教ルノ法德行言語政事文學等ノ科條ヲニツケテクテクノ人ノ才徳ニシテカヒテ教ヘ成ス  
往ク者トハ今ヨリサキノコトヲ云スキツルヨレハ追テタツキハメズ只來リテ教ヘテウクル者ヲ

ハウケテ拒  
苟以是心至斯受之而已矣  
云ハハモレ道ニムカフノ心ヲ以テ至ラハ  
スナハチコレヲ受ケスルヘキノミツヲ以

前ノ必善ナルヘキニテハ夫子モウケアツアタハシトナリ孔子互鄉ノ童子ニアロ  
玉フ心モカクノ如シ或人ノ言聖賢ノ言ニ合フアルヲ以テ並ニコレヲ記セリ  
孟子曰

孟子曰

孟子曰

孟子曰

人皆有所不忍達之於其所忍仁也 人ニテ必人ノイタニ忍ヒサル処アリコレ即

偏物欲ノ礙ハレニヨリテ此ニヨクソノ忍ヒサル心ヲ推シ及ホセ凡彼レニヨクセサルアリ人ヨク

ソノ忍ヒサル心ヲヒキノバシテソノチヲ忍フ処ニ通達スル時ハ事トシテラスト云フナレコレ

仁人 人皆有所不為達之於其所為義也 人ニテ必カリツメニモ為ルル処アリ

餘ノ文義ハ上ノ段ニ同シ 人能充無欲害人之心而仁不可勝用也 人ヲ害セシク欲ス

ニテ必アル処ノ忍ヒサル事實ナリヨクコレヲ忍フ処ニ達スルノ分量ニシテ 人能充無穿

踰之心而義不可勝用也 穿ハ允ラウカツ踰ハ屏ヲコスニテヌスミヲスルコトナリコレ人

人能充無受爾汝之實無所往而不為義也 爾ハナチ汝ハナチナラト云詞

ヲ申子トク人或ハタニスル処アリテ人ノ我ニチチト云詞ヲ撰テ多クアルレ内心ニハ必ハチイカクテ

ナクガバサル処アリコレ即誠實ノ真情ナリ人ヨクヲ實ヲ推シヒロメテ充ル時ハ中心外事ユク処ト

ノ義ヲラスト云フナレ蓋シ穿踰ノハ姦惡ノ心アレ罪ヲ悞ルカタメテセサルモノアリ爾汝ヲ受テ

サル心ハ最眞切ニシテモ自サトシヤスキナレニヨリテフタビコレヲサレ出シテ人ヲ羞惡心ヲ擴充シ

スルニ手ヲ下ス 士未可以言而言是以言餽之也 人トモノ云フニ必スレモイフニ

動カスアルハコレソノ言ヲ処ラ以テ 可以言而不言是以不言餽之也 モシイヒ

人ノ感激ヲ探クリ取ルナリ 是皆穿踰之類也 上ニ段ニ云ル事

処ラコトサラニ黙シヒカテ人ニトヒウカハシムルハ 是皆穿踰之類也 最モ隱微ナリトイ

コレソノイハサル処ヲ以テ人ノ來問ヲ探取ルナリ 孟子曰言近而指遠者善言也 指トハ味

ヘレワカ恩ヲ賣ルタメニヒツカニコレヲトルコモ亦穿踰ノ類ナリ然ルニ上タルモノトイヘレ或ハアナ

トリカドレムル処ヨリヲホヘズソコレヲ犯スアアリヨリ又コレヲ例トシ凡ソ羞惡ノ心ヲ推スモノ必コノ

類ニ至ルニテモコトククノズキステ而ノ後ニヨクソノ心ヲ達シ充ツトフルヲ示セリ○論語ニ云

夕色厲而內存辟諸小人其猶穿窬之盜也與表記ニ云ク君子不以色親人情疎而貌親也

小人則穿窬前之盜也與トコレモ亦三ナ 孟子曰言近而指遠者善言也 指トハ味

穿窬前ノ類ニノ君子ヲカクコレヲ惡メリ 君子之守脩其身而天下平 君子ノ

善 君子之言也不下帶而道存焉 古人ハツノ見ルヲ帶ヨリクダラス然レハ帶ヨ

心ハ君子ノイフ処目前ノマチカキコトヲソノ内 君子之守脩其身而天下平 君子ノ

ニ至極ノ道理存スコレ言近ク言遠キナリ 身ヲ脩ルヲ以テ要トスヨクソノ身ヲ脩ル時ハコレヲ事業ニ措キテ家齊イ國治リ天下平

ナルニ至ルソノ施ス処順テヤスキ故ニソノ及フ処カキリナレコレ守ル処約ニテ施スノ博ナリ

人病舍其田而芸人之田所求於人者重而所以自任者輕人

和

孟子

五十三

上文ノ君子ニ對シテ常人ヲサス上ニ句ハ田ノ草ヲトルヲ借リテ下ニ句ハ心ヲ起セルハカリナリ  
 云心ハ常人ノレヲガニ病フキハ人ヲ正スニ責メ求ル処重クソノ身ニ及テ自脩ルヲワスレ  
 凡ノ已レニアツカルヲワカ任トシテ輕キテ任トハ荷フヲナリコレヲ守ルル  
 約ナラズ施スルノ博カラシク求ルノ病ナリ言近カラスノ旨遠カラシク求ルノ病モコレニ  
 例ノ知 **孟子曰堯舜性者也** 堯舜ノ聖徳ハ天性ヲ全クシテガレテコトナフ処ナク生知安  
 ルヘシ **湯武反之也** 湯武ハ性ヲサス湯武ハ脩為工夫ヲ用ヒテ **動容周旋中禮者盛徳**  
 之至也 此ヨリ以下ハ性ノミナラズ聖人ノヲ詳ニトク動容トハ動キハタラク容儀ナリ周旋ハ

禮節ニアタルハコレ **哭死而哀非爲生者也** 此ヨリ又上文盛徳ノ中ニキテ各一事  
 聖徳ノ盛至リナリ **經徳不回非以于祿也** 忠信ノ類平常ノ徳行ヲ  
 キテアル親族ノ見ルカタニセス **言語必信非以正行也** 言語必忠信ナ  
 云コレヲスルノ自然ニ正直ヲ邪曲ナラズ **君子行法以俟命而**  
 行ト致ナリ言行相正シテタカハシトスルタメニアラサルナリ以  
 上ノ三ツノ類ニテ自然ニ安行スツモ心アリテコレヲスルニアラス

**已矣** 此段ハ及之ノヲ云法トハ天理ノ當然ナル処ヲサス君子ヲ行ヒテ吉凶禍福ス天  
 命ハ到來ニカセテコレヲマツ少モ計較ノコレヲ求メコレヲノカル、心ナレバ一向ニ法ヲ行ハ  
 カリナリコレイニダ自然ニ心ナキアタハストイハレ亦ツモタメニスル処アリテコレヲスルニアラス  
 コノ故ニヨク本性ニ及ルヲ得ルナリ○聖人ハ天地ト徳ヲ合セタリ故ニソノスル処ヲノツカラ

天下ノ法トナリソノ値フ処ヲツカラテ命ニカナフ君子ハ此ノ法ヲ **孟子曰說大人**  
 行ヒテ命ノ來ルニカサレレ其徳成ル至リ人亦聖人トナリ **則藐之勿視其巍巍然** 此大人ハ當時ノ尊貴ナル人ヲサス巍巍トハ富貴ニシテ高ク  
 ロシノ目ニカクルヲナカルヘレヨクカクノ如クナル時ハ **堂高數仞椽題數尺我得志弗**  
 則ノガ志ノビヤカニ言語ヲツクスヲ得ルナリ **爲也** 椽題トハタルキハナリソノ公子イタル処數尺ナバ高堂ニシテ又大廈ナリコレ即巍巍  
 然ノ一端下文ニアクル処モ亦然リ得志トハ大人ノ位ヲ得テ志ス処ヲ行フヲ云タト

ヒツノカコレヲスルヲ得ルニ必 **食前方丈侍妾數百人我得志弗爲也**  
 前ニツラヌルノ四方又ニ **般樂飲酒驅騁田獵後車千乘我得志弗爲**  
 奉侍スル妾婦數百ナリ **也** 驅騁ハ車ヲハスルナリ人テハタビタノレニテ酒宴ヲ出テハ **在彼者皆我所不爲**  
 也 車ヲハセテ田獵ニ行ク時ハソノ車千兩ニ至ルナリ **也** 在彼者皆我所不爲

**也** 今自ニカクルアルベクレハ必スミナスミキルナリ而シテ我レニアリテ守ルルハイツレノ時モ古  
 聖賢ノ制法ニ分際ヲコホカスヲナキモノナリ然レハ我ナシカノ巍巍然タルモノヲ畏レシマト  
 ○揚氏ノ云ク此章孟子己カ長キヲ以テ人ノ短キニタク **孟子曰養心莫善於寡**  
 シラナラコレソノ氣象アリ孔子ニ在テハ則コレナレ **欲** 養心トハ即チ心ヲ内ニ存養スルヲナリ欲トハ口鼻耳目四肢ノ欲スル外ヲ云

欲 **心ヲ養フノ術欲ヲ制スクナクスルヨリモヨキナレシノ義ハ下ニ見ヘタリ** **其爲人也**  
 其爲人也

孟子曰養心莫善於寡欲 其爲人也



寡欲雖有不存焉者寡矣其為人也多欲雖有存焉者寡矣天

人欲互ニシテラフル多クニヨリテ本心ノ存亡コレニカレリコノ故ニ凡ソ人ノナキコトアハサル処ノ欲  
トイヘテ多キニテ節制セサル時ハツイニ本心ヲ失フニ至ルモモク私意ニ出タル欲オラス必スニヤカニ克チ  
ツクレテ一毫モトムニキコト勿論ナリコレ學者ノ深クイニレムキ処ナリ○程子ヲモテクソウセキ  
欲スル処ハ必シモ沈ニ溺ルル云々ニアラズ只ワツカニ向フ処アル即チコレ私欲ナリ 曾皙

嗜羊棗 羊棗ハ羊矢棗ナリ羊矢トハ羊ノ糞ヲ云ク形小キヲニコク色  
而曾子不忍

食羊棗 曾皙死シテ後曾子羊棗ヲ見テハ親ノ好ムルヲ思ヒテ必スナリ人ノソコレヲ食  
セサルヲ見テ食フニ忍ヒスト云ナリ曾子食セントスレバ忍ヒスト食セスト云ニハナラ

公孫丑問曰膾炙與羊棗孰美 膾ハナニスナリ肉ヲヒキテ又ホソク 孟子

曰膾炙哉 膾炙ス 公孫丑曰然則曾子何為食膾炙而不食羊棗

膾炙羊棗ニナ親ノレシスル処ナルヘキニ曾子ナシテ其美ナル者ヲ 曰膾炙所同也羊

食ノ不美ナル者ヲ食セサルトコレ丑カ疑ヒノ本意ナリ

棗所獨也 膾炙ハ人ノ同ク好ムルナリ羊 葷名不諱姓姓所同也名所獨

也 人ノ名ヲイミテイハサレ姓ハ則チコレヲイハズ姓ハ世ニ同姓多ク名ハ 萬章問曰孔子

在陳曰盍歸乎來 夫子諸國ヲメケリモフ後ニ道ノ天下ニ行ハレサランヲ見テ 陳ヲ魯ニ隔ラシメテ玉ハク今ハナラフ歸ルニシキヤトカクニ

歸ルヘト來ノ字 吾黨之士狂簡進取不忘其初 吾黨トハ孔子ノスニ玉ノ

ハ詞ノ暇ケナリ 志スル処ノ大イナルヲ云簡トハ行フ処ノ略スルヲ云進ニ取ルトハ道ノ高ク遠キ処ヲ得シト求メ

望ムナリコレ狂者ノ初ヨリ君ヒ來ルサカナルヲバナラ忘レズ改メサルヲ夫子歸郷ノカノ

奮勵ヲ正シテテ道ヲサツケ後世ニツタヘ 孔子在陳何思魯之狂士 萬章ヲ

ト思ヘルニヨリテ歸ラントノ玉ヘルナリ 孔子在陳何思魯之狂士 萬章ヲ

フノカニ孔門ニナラ賢者アルヘキヲバ 孟子曰孔子不得中道而與之必也狂

ナシ 狂者進取 狂者有所不為也 孔子在陳何思魯之狂士 萬章ヲ

トシ 狂者進取 狂者有所不為也 孔子在陳何思魯之狂士 萬章ヲ

必得故思其次也 孔子在陳何思魯之狂士 萬章ヲ

何如斯可謂狂矣 萬章問フソノカニイカマツノ 曰如琴張曾皙牧皮者孔

子之所謂狂矣 琴張姓ハ琴名ハ字ハ子張ナリソノ事莊子ニ出タリ曾皙ノ論語

何以謂之狂也 萬章 曰其志嚶嚶然曰古之人古之人 嚶々トハ其

志大イナル

マニツノ言ノ大ナルヲ云コレ云受在者ノ志又外ノ詞ニ出ルマツタ然トノ夫夷考其行

而不掩焉者也 狂者ノ志カクノ勢ナレバ日用常行ノ道理ヲ以テタイラカニ考ヘシハ行フ処

狂者又不可得欲得不屑不潔之士而與之是環也是又其次

也 コレ上文ニ孔子狂狷ヲ並ニ思ヘルアルヨリテ又狷者ノノニ及リ不潔トハ無道非義ノルイ

故ニソノ不潔ノヲ得テセサルノ士ヲ得テコレニクセメク欲スコレ所謂狷者ニ又狂者ノ次ナリ

孔子曰過我門而不入我室我不憾焉者

其惟鄉原乎 此ヨリ下ハ萬章又鄉原ノヲトバトメツ夫子ノ言ラヒク郷原トハ原ハ愿

者ニアラズ一心ニ只人ノ我ヲヨクイハシノミヲツトテ我カ身ノ

郷原德之賊也 郷原ノ德ニ

曰何如斯可謂之

郷原矣 曰何以是嚶嚶也言不願行行不願言

則曰古之人古之人 己郷原カ在者ヲソレノ言ナリ言願行行願言トハ言ト行

行何爲躊躇

涼涼 義ナリ人ニシテレレサルヲ云コレ云心ハ狷者ノ行ナラズ必スレモ已ラズ堅ク守リヒトリ

生斯世也爲斯世也善斯可矣 郷原自ノ

闡然媚於世也者是郷

原也 此子子評辭ノ詞ナリ闡然トハトチカクス心媚トハ人ノ氣ニイラシヨラ求ムル義ナ

萬章曰一郷皆稱原人焉無所往而不爲原人孔子以爲德之

賊何哉 章ウタカハレク原モ亦謙辱ノ名目ナリモレ一郷ノ中ニナ原人ト稱スル

無譽也刺之無刺也 非トクノ大弊アレキコトヲ云刺トハ過失ヲサシ出シテ云ナリ

同乎流俗合乎汙世 流俗トハ

風俗ノ

云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクダレモニコレモ論セズ只遠近ノ人ニシテ合同ノスス即チコレ

云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクダレモニコレモ論セズ只遠近ノ人ニシテ合同ノスス即チコレ

云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクダレモニコレモ論セズ只遠近ノ人ニシテ合同ノスス即チコレ

云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクダレモニコレモ論セズ只遠近ノ人ニシテ合同ノスス即チコレ

云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクダレモニコレモ論セズ只遠近ノ人ニシテ合同ノスス即チコレ

云郷原人ニシレハルノ術世俗ノクダレモニコレモ論セズ只遠近ノ人ニシテ合同ノスス即チコレ

世媚ル居之似忠信行之似廉潔  
居之トハ心ヲタテラクヲ云郷原カ心ヲ立  
者ニラス只世俗ノ忠信廉潔ト思ヘル以テムカヒツ  
レサリクヘワタリテツモ心ニホツキ理ヲ正レウスルナシ  
衆皆悦之自以爲是而

不可與人堯舜之道故曰德之賊也  
郷原ノ人トナリカクノ如ク九故ニ諸人ニ  
ト思ヘルナリサレ畢竟是ニ似テ非ナルヲ以テコレト共ニ堯舜ノ道ニイラスコレガタメニ自  
他ノ德ミナソコナルヲ以テ德ノ賊ト云ナリ蓋レ堯舜ノ道ハ中道ナリ狂狷ハ中ニスキ名  
トイヘコレヲ裁正スレハ中道ニスムヘ郷原ハ及テ中道ニ似タレ元來似セモノナルニヨリ  
テツイニ眞的トナル道理ナキナリ或人云ク中道ハコレ瑕ナキノ玉狂狷ハコレ瑕アルノ玉郷原ハ  
瑕ナキ石ノ玉ニ

孔子曰惡似而非者  
此ヨリ又夫子ノ言ヲヒキテ郷原ノ世ヲミトハシ  
似タルモノナリ孔子曰惡似而非者ニテ德ノ賊タルヲ明ス云心ハワレ凡ソ物ノ眞  
テ眞ニ非ルモノヲ惡ムト

惡莠恐其亂苗也  
莠ハ苗ニ似タル草ノ名ソノ苗ニスキレテ害  
ナス故ニコレヲ惡ニテ又スキスツニ借リテ

惡鄭聲恐其亂樂也  
鄭聲ハ鄭國ノ樂聲淫靡ナリ樂トハ雅衆ヲサス淫聲ハ耳ノ私  
欲ヲミヤスキヲ以テ雅衆ヨリモ好ムモノ多シコレ樂ヲ乱ルナリ紫  
間色朱ハ正色ナリ紫色ハ穢ナル故ニ目ノ私欲ニシ  
ヤスキヲ以テ正色ヨリモ好者多シコレ朱ヲ乱ルナリ

惡鄉原恐其亂德也  
郷原ノ  
似テ非サル道ノ惡佞恐其亂義也惡利口恐其亂信也  
佞ハ佞人ナリ  
人心ヲ乱ルヲ云

非ラニキラハスコレ義ニ似テ義ヲ乱ルナリ利口ハ口トキツ  
一言ノ間ニ偽リヲ信ニイヒナスコレ信ニ似テ信ヲ乱ルナリ

惡鄭聲恐其亂樂也  
鄭聲ハ鄭國ノ樂聲淫靡ナリ樂トハ雅衆ヲサス淫聲ハ耳ノ私  
欲ヲミヤスキヲ以テ雅衆ヨリモ好ムモノ多シコレ樂ヲ乱ルナリ紫  
間色朱ハ正色ナリ紫色ハ穢ナル故ニ目ノ私欲ニシ  
ヤスキヲ以テ正色ヨリモ好者多シコレ朱ヲ乱ルナリ

君子反經而已矣  
コレヨリ孟子ノ  
亂ルナリ孟子聖語ヲヒク意此ノ句ニ重シ

君子反經而已矣  
語ナリ此君子  
ハ德ト位トヲ兼テ云經ハ常ナリ萬世不易ノ常道ヲ云凡ソ三綱五常ヨリ事物ノ細微ニ至  
ルニテ皆經常ノ道理アリコレヲ心得レハ德ト云コレヲ政ニ用レハ經ト云フナリ蓋レ世道ヲトロヘテ  
大經正レカサレ時ハ人々郷原ノ如キ異説ツクリテ私ヲ濟シ人ヲトハス君子此ノ時  
ニアタリテハ其バヲ脩メ人ヲ治ルノ只常道ニタチカハリテコレヲ正レクスルノ外ナレ

庶民興  
常道モトノ如クニ正ク九時ハ庶  
民モ感化メコノ道ニフリタツ

庶民興斯無邪慝矣  
慝ハ惡ナリ庶  
民正道ニ興

孟子曰由堯舜至於湯五百有  
起スル時ハ是非明白ニシテキラハレカラスヨリテ

餘歲若禹臯陶則見而知之若湯則聞而知之  
知之トハツノ道ヲ知ルナ  
リニ凡ソ五百歳ニラスナチ興リ出玉コレ古來天運ノ常ナリコノ故ニ堯舜イテ玉ハ一時ノ禹臯  
陶トハ親ク見テツノ道ヲ知ルツノ後五百餘歳ヲ歷テ成湯出玉フ時ハ堯舜ノ道ヲキキタ  
テコレヲ知レリ然レモコレニナ名世ノ聖賢ナレ必人ニウケタタテ後ニコレヲ知ルトニムニアラス  
蓋レ同時ニアレハ臣ハ君ヲ以テ主トスベシ異世ニアレハ後聖ハ前聖ヲ以テ師トスヘキコノ當  
然ナリ下ノ段々

由湯至於文王五百有餘歲若伊尹萊朱則見而  
亦コレニ同シ

知之若文王則聞而知之  
萊朱ハ湯ノ賢臣ナリ或人  
ノ云ク即仲虺ナリト

由文王至於孔子  
五百有餘歲若大公望散宜生則見而知之若孔子則聞而知

之散ハ姓宜生ハ名由孔子而來至於今百有餘歲去聖人之世若

此其未遠也近聖人之居若此其甚也然聖人ノ居ハ魯ヲ云孟然而無

有乎爾則亦無有乎爾爾リトハ如此ト云義ナリ見知聞知ヲサレテ云コレ云意ハモ

アルニキゴトコレ深ク道統ノ斷絶スルヲナクニ似タリ然レハツラクソノ詞ヲ求ヒ見レバ我々

ハチ道統ヲ傳ヲ得タリトハアテイハサレ居自今ノ世ノ見知ニアタレルヲ詳スルヲアタス又

天理人性ハイツメテモホモサレ者ナレハ百世ノ下モタリレコノ道ヲ神會ノ心傳スルハアルニト思ヘ

意見タリ七篇ノ書ヲハラントスル時ニ中道邪説ヲ辯明ノ遂ニ歷聖相傳ノ統緒ヲ以テコレ

ヲ收ム論語ノ終篇ニ門人堯舜ヨリ孔子ニデノ道統ヲ繫ルト同シ意ナレバ〇孟子没タリヨリ

四百年ノ後趙宋ノ世ニ至リテ周程張朱ノ諸賢カハルクヲコレテ不傳ノ學ヲ遺經ノ中ヨリ

發明シ前聖ノ道又豁然トノ明ナルヲ白日ノ青天ニ申スルガ如クニライテ孟子ノ期待スル

外アヤニタス後學ノ者ニテ正路ヲミ知りテスニユクヲ得タリ天下何ノ難イカニシレキ

ラシ其恩澤カキリナキモノナリ

四書國字辨孟子卷之四大尾

好古堂書畫記 清姚際恒著 中箱本 二冊 趙子昂歸去來帖 一帖

古書畫法帖ヲ品評シ其真蹟ヲ愛翫スルカ如シ鑒賞家必ス見ヘキ書ナリ 橘逸勢真蹟法帖 一帖

花曆百詠 附百和賦 瑞榴賦 清翁榴菴著 二冊 二家詠物詩 謝宗可 瞿宗吉 張木咸 三冊

四時ノ羣芳數百種詩以テ題詠シ賦以テ包羅シ節候ヲ次序スルヲ月令ノ體ニ效ヒ爾雅ノ例ヲ用ヒテ其異同ヲ辨釋ス占春

先生和稱ヲ附録シ詩佛顯齋西先生訂正ス草木花實ヲ多識スル益モ少カラズ詩家ノ座右ニ缺ヘカラサル書ナリ

癩癩狂經驗編 土田先生著 一冊 文衡山詩鈔 原優所先生校 二冊

先生多年功ヲ積テ古人未發ノ治療經驗ノ方書ナリ 蘭亭字原考 澤田東里先生著 一冊

仁義略說 朝川善菴先生著 一冊 板元 江戶神田新町 須原屋源助

右之書何方之本屋より發行 向手手寄多事求う下以上

之散ハ姓宜生ハ名由孔子而來至於今百有餘歲去聖人之世若

此其未遠也近聖人之居若此其甚也聖人ノ居ハ魯ヲ云孟然而無

有乎爾則亦無有乎爾爾リトハ如此ト云義ナリ見知聞知ヲサレテ云コレ云意ハモ

アルニキゴトコレ深ク道統ノ斷絶スルヲナクニ似タリ然レバツラクソノ詞ヲ求ヒ見レバ我ス

ハチ道統ヲ傳ヲ得タリトハアテイハサレモ自今ノ世ノ見知ニアタルコトヲ詳スルヲアハス又

天理人性ハイツメテモホロサレ者ナレハ百世ノ下モタリモ道ヲ神會シ傳スル人アルヘト思ヘ

意見ハタリ七篇ノ書ヲハラントスル時ニ中道邪説ヲ辯明ノ途ニ歴聖相傳ノ統緒ヲ以テコレ

ヲ收ム論語ノ終篇ニ門人堯舜ヨリ孔子ニテ道統ヲ繫ルト同シ意ナレシニ○孟子汝タヨリモ

四百年ノ後趙宋ノ世ニ至リテ周程張朱ノ諸賢カハルコトヲコレテ不傳ノ字ヲ遺經ノ中ヨリ

發明シ前聖ノ道又豁然トノ明ナルコト白日ノ普天ニ中スルガ如シコトヲ孟子ノ期待スル

外アヤニタス後學ノ者ニテ正路ヲミ知リテスミユクヲ得タリ天下何ノ難イカニシクア

ラン其恩澤カキリ

ナキモノナリ

四書國字辨孟子卷之四大尾

天明八戊申八月御免

寛政六甲寅臘月發行

東都書林

須原茂兵衛

大阪書林

杉岡長兵衛

勝村治右衛門

京都書林

藤井孫兵衛

鈴木半兵衛

大谷仁兵衛

孟子 卷之四 大尾

